

平成30年度労災疾病臨床研究事業費補助金
「過労死等の実態解明と防止対策に関する総合的な労働安全衛生研究」
分担研究報告書（事案解析）

脳・心臓疾患及び精神障害の労災認定事案の解析 —7年間(平成22～28年度)の経年変化—

研究分担者 佐々木毅 独立行政法人労働者健康安全機構労働安全衛生総合研究所
過労死等防止調査研究センター・上席研究員

【研究要旨】

平成22～28年度の7年間の脳・心臓疾患及び精神障害の労災支給決定事案についてデータベースを構築して解析し、性・年齢、疾患名、業種・職種、健康管理状況等及び出来事別の経年変化を検討することを目的とした。特に、脳・心臓疾患事案では規則・規程や健康管理の状況、精神障害事案では出来事（業務による心理的負荷）、両事案のICD-10に基づいた被災時の疾患名については初めての報告である。

データベース構築は、(1)厚生労働省が「過労死等の労災補償状況」で公表しているデータ及び調査復命書等の提供を受け、データ整理・電子化・入力により平成27～28年度データベース（脳・心臓疾患511件、精神障害970件）を作成、(2)平成22年1月～同27年3月の調査復命書等を全国の労働局及び労働基準監督署から収集して作成したデータベース（脳・心臓疾患1,564件、精神障害2,000件）と厚生労働省が「過労死等の労災補償状況」で公表している平成22～26年度のデータを突合し、平成22～26年度データベース（脳・心臓疾患1,516件、精神障害2,041件）を作成、(3)上記(1)と(2)を結合した。平成22～28年度データベースは脳・心臓疾患2,027件、精神障害3,011件である。

脳・心臓疾患事案については、男性が95%超、発症時年齢は40歳以上が8割超、脳血管疾患が約6割で心臓疾患が約4割、最も多い疾患は脳内出血で約3割だったが年度による顕著な差は見られなかった一方、被災者の事業場が就業規則及び賃金規程を有する割合、健康診断及び面接指導の実施率は近年増加傾向であった。精神障害事案については、男性が7割弱、発症時年齢は男女とも30～39歳で最多、自殺事案では95%超が男性、最も多い疾患はうつ病エピソードで4割超だったが年度による顕著な差異は見られなかった一方、出来事の「仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事」や「2週間以上にわたる連続勤務」「(ひどい)嫌がらせ、いじめ、又は暴行」などが近年増加傾向であった。

以上の結果を踏まえ今後の過労死等防止対策のさらなる推進及び対策の評価を進めるうえで、継続的かつ詳細な業務上事案のモニタリングは重要である。

研究分担者：

菅知絵美（労働安全衛生総合研究所過労死等防止調査研究センター・研究員）
吉川 徹（同センター・センター長代理）
松元 俊（同センター・研究員）
梅崎重夫（労働安全衛生総合研究所・総括領域長）
高橋正也（同研究所・産業疫学研究グループ・部長）

研究協力者：

山内貴史（同研究所・客員研究員）
茅嶋康太郎（同研究所・フェロー研究員）
竹島 正（川崎市精神保健福祉センター・所長）

A. 研究目的

平成27～29年度における労災疾病臨床研究において、過労死等防止調査研究センターでは平成22年1月から平成27年3月までの脳・心臓疾患と精神障害に係る調査復命書等を全国の労働局及び労働基準監督署から収集し、その情報をデータベース化した後に解析し、平成27年度は労災支給決定事案、平成28年度は労災不支給決定事案、平成29年度はそれらを含む労災支給・不支給決定事案の実態について報告し、過労死事案を踏まえたうえでの過重労働対策を探った。

過労死等防止調査研究センターに収集された労災認定事案の支給決定年度に相当する平成22年度から26年度までの厚生労働省発表

の「過労死等の労災補償状況」によると、労災請求件数は脳・心臓疾患では増減が見られるが、精神障害では概ね増え続け、労災支給決定数は脳・心臓疾患、精神障害とも下げ止まりは見られない。一方、平成26年6月に過労死等防止対策推進法が成立し（同年11月に施行）、平成27年7月には過労死等の防止のための対策に関する大綱が策定され（平成30年7月に変更）、1970年代後半に初めて提唱され1980年代後半から社会的に大きく注目され始めた“過労死”について整理され、過重労働対策が我が国の主導の下で動き出した。その防止のための対策を提案するための調査研究等のうち、労災認定事案の分析は大きな柱として位置付けられている。よって、過労死等防止調査研究センターが報告した平成26年度以降の実態についても引き続き検討する必要がある。

そこで本研究では、平成27、28年度の調査復命書等を収集してその情報をデータベース化し、これと平成22～26年度までの分と結合させて平成22～28年度の7年間の脳・心臓疾患及び精神障害の労災支給決定事案（以下、「業務上事案」という。）についてデータベースを構築して解析し、過労死防止対策に繋がる項目の経年変化を検討することを目的とした。

B. 研究方法

1. 分析対象

以下の手順によりデータベースを構築し分析対象とした。

1-1) 平成27～28年度データベースの作成

厚生労働省より「過労死等の労災補償状況」で公表しているデータ並びに全国の労働局及び労働基準監督署から集約した調査復命書等の提供を受け、データ整理・電子化・入力により平成27～28年度データベース（脳・心臓疾患511件、精神障害970件）を作成した。

1-2) 平成22～26年度データベースの作成

平成22年1月～同27年3月の調査復命書等を全国の労働局及び労働基準監督署から収集して作成したデータベース（脳・心臓疾患1,564件、精神障害2,000件）と厚生労働省が「過労死等の労災補償状況」で公表している平成22～26年度のデータを突合し、平成22～26年度データベース（脳・心臓疾患1,516件、精神障害2,041件）を作成した。なお、脳・心臓疾患で3人、精神障害で1人については同一人物が2回支給されているケースであった。

1-3) 平成22～28年度データベースの構築

上記1-1)と1-2)を結合し、平成22～28年度データベース（脳・心臓疾患2,027件、精神障

害3,011件）を構築した。

2. 分析方法

性・年齢（請求時、発症時、死亡時）、業種・職種、疾患名、前駆症状、労務管理・健康管理の状況、出来事（特別な出来事、恒常的な長時間労働、具体的出来事）などの情報に関する基本集計とクロス集計を行った。

3. 倫理面での配慮

本研究は、労働安全衛生総合研究所研究倫理審査委員会にて審査され、承認を得たうえで行った（通知番号：H2708、H2743、H3009）。本研究で用いたデータベースには、氏名、住所、電話番号等、個人を特定できる情報は一切含まれていない。

C. 研究結果

1. 脳・心臓疾患事案

1-1) 性・年齢（表1-1-1～表1-1-3）

2,027件のうち、1,940件（95.7%）が男性であった。また、死亡事案が814件（40.2%）あり、うち男性は793件（97.4%）であった。

発症時年齢分布では、男女とも50～59歳が最も多く、40歳以上を合わせた全期間での割合は男性で84.2%、女性で78.2%であった。

一方、死亡時年齢分布では40～49歳（全期間で35.9%）が50～59歳（同33.5%）より僅かながら多かった。

1-2) 疾患名・前駆症状（表1-2-1～表1-2-3）

事案全体では、年度を問わず脳血管疾患が約6割、心臓疾患が約4割であった。また疾患別では、脳内出血（全期間で29.7%）、くも膜下出血（同17.9%）、次いで心筋梗塞（同16.1%）あるいは心停止（同14.8%）の順で多かった。男性は同様の傾向であったが、女性は9割近くが脳血管疾患であった。

前駆症状があったのは事案全体の2割以下（同18.9%）で、男性はほぼ同様の傾向であった。

1-3) 業種（表1-3-1～表1-3-3）

事案全体では、運輸業・郵便業（全期間で32.3%）、卸売業・小売業（同14.2%）、製造業（同12.8%）が年度を問わず多く、この3業種で平成22～26年度までは6割未満、同27年度以降は6割超、更に、建設業（同9.8%）を加えた4業種で約7割を占め、年度間での顕著な相違は見られなかった。

男性では同様の傾向であったが、女性では卸売業・小売業（同 21.8%）、医療・福祉（同 13.8%）、運輸業・郵便業（同 12.6%）、製造業（同 12.6%）、宿泊業・飲食サービス業（同 12.6%）の 5 業種で 7 割超を占めた。

1-4) 出退勤の管理状況、就業規則等、発症 6 か月前の労働時間以外の負荷要因・時間外労働時間数（表 1-4-1～表 1-4-3）

事案全体で出退勤の管理状況（複数回答）の把握に最も多く利用されているのはタイムカード（全期間で 31.0%）で、平成 28 年度には 4 割を超えた。

事案全体で事業場に就業規則あり（同 79.3%）及び賃金規程あり（同 71.5%）、健康診断の受診（同 71.8%）は平成 27 年度以降にやや増加し、就業規則ありは 8 割 5 分を、賃金規程ありと健診の受診は 8 割を超えた。面接指導の実施（同 2.9%）は平成 22 年度の 3.5%から同 26 年度には 1.8%に下がったものの、同 27 年度は 3.6%、平成 28 年度は 4.2%に増加し、既往歴がある者（同 35.1%）も同 27 年度以降に約 4 割に増加した。

発症前 6 か月の労働時間以外の要因では拘束時間の長い勤務（同 29.9%）であるが、年度間で顕著な相違は見られなかった。

2. 精神障害事案

2-1) 性・年齢（表 2-1-1～表 2-1-3）

3,011 件のうち、2,065 件（68.6%）は男性であった。また、概ね事案全体の約 2 割が自殺事案であった。自殺事案（未遂を含む）は 563 件（18.7%）であり、うち 537 件（95.4%）は男性であった。

発症時の平均年齢は総数・男女別ともに年度間で顕著な相違は見られず、年齢階級別事案数は 30～39 歳及び 40～49 歳で多かった。男性の自殺事案数は 40～49 歳で最も多かった一方、女性の自殺事案数は総数が 21 件と少ないものの 20～29 歳が 10 件（47.6%）であった。

2-2) 疾患名（表 2-2-1～2-2-3）

事案全体では、年度を問わず「うつ病エピソード（F32）」が最も多く、4 割超の事案が該当していた。次いで事案数が多い疾患は「適応障害（F43.2）」及び「心的外傷後ストレス障害（PTSD）（F43.1）」であり、この傾向は分析対象期間を通じて不変であった。いずれの年度も、決定時疾患名が「気分[感情]障害（F3）」「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害（F4）」以外の疾患であった事案は少数であ

った。

男女別では、男性では「気分[感情]障害」が「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」よりも多かった一方、女性では 70% 超の事案が「神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害」に該当していた。

2-3) 業種（表 2-3-1～表 2-3-3）

年度を問わず、業種別の事案数は「製造業」で最も多く、事案全体の約 2 割が該当していた。「卸売業・小売業」「医療、福祉」「運輸業、郵便業」においても事案数が多く、いずれの年度もこれら 4 業種の事案数は事案全体の半数を超えていた。

男女別では、男性では「製造業」において事案数が最も多かった一方、女性では「医療、福祉」の事案数が顕著に多かった。

2-4) 出来事（表 2-4-1～表 2-4-3、表 2-5-1～表 2-5-3）

平成 24 年度以降で、「心理的負荷による精神障害の認定基準」（平成 23 年 12 月）に基づく「具体的出来事」で最も多かったのは一貫して「仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事」であった。これ以外の出来事では、いずれの年度においても「悲惨な事故や災害の体験、目撃」「（ひどい）嫌がらせ、いじめ、又は暴行」「上司とのトラブル」といった出来事が多く見られた。「特別な出来事」及び「恒常的な長時間労働」を含めた他の出来事についても、年度間で該当状況に顕著な変化は見られなかった。

男女別では、男性では「具体的出来事」として年度を問わず「仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事」が最も多かった。一方、女性では「悲惨な事故や災害の体験、目撃」及び「セクシュアルハラスメント」が最も多かった。

D. 考察

本研究では、平成 22～28 年度の 7 年間の脳・心臓疾患及び精神障害の業務上事案について、その経年変化を検討した。性、年齢、業種等は毎年度「過労死等の労災補償状況」で公表されており必ずしも新規性のあるデータとはいえないものの、7 年間分を時系列にまとめた点に価値があると考えられる。また、脳・心臓疾患事案では規則・規程や健康管理の状況、精神障害事案では出来事（業務による心理的負荷）、両事案の ICD-10 に基づいた被災時の疾患名については調査復命書からデータベース化しなけれ

ばならずこれまで詳細な発表はされていなかった。

1. 脳・心臓疾患事案

脳・心臓疾患事案では男性が 95.7%を占めるため、必然的に男性の経年変化は事案全体のそれと同様なものとなった。男性では年齢、疾患名、及び業種の構成割合に、年度間で顕著な相違は見られなかった。女性は対象人数が 7 年間で 90 人未満と少ないため、年度間での構成割合の変動が大きい。

その一方、被災者の事業場が就業規則及び賃金規程を定めている割合、健康診断及び面接指導の実施率は平成 27 年度以降に増加している傾向が見られた。なお、事案数は平成 26 年度の 277 件から同 27 年度に 251 件、同 28 年度に 260 件とわずかながら減少しているにも拘わらず、実施等の件数自体が増加しているものの、これには後述する現在の事案データベースの課題、つまり平成 26 年度までの調査復命書等の資料では「記載なし/不明」が多く、そのため該当する件数が少なくなっている可能性を否定できない。しかし、平成 29 年度の分担研究報告書（「脳・心臓疾患及び精神障害の労災請求事案の実態に関する研究」, p141~167、以下、平成 29 年度報告書という。）における平成 22 年 1 月~同 27 年 3 月の業務上外事案の分析結果から、健康診断を受診している者は脳内出血及び脳梗塞では発症割合が低く、面接指導の実施は 2%に満たないことが明らかになったことを考えると、実施率の増加は好ましい傾向であるといえる。

また、平成 29 年度報告書では、既往歴があると 40 代以下の脳内出血及び心筋梗塞及び 50 代の解離性大動脈瘤の発症割合が高いこと、不規則勤務又は拘束時間の長い勤務があると心筋梗塞の発症割合が高いことも報告した。既往歴がある者は平成 27 年度以降に増加している傾向であり、拘束時間の長い勤務はこの 7 年間で最も多い労働時間以外の負荷要因であったが、年代・疾患別での関連については今後の検討課題としたい。

2. 精神障害事案

平成 22 年度から 28 年度までの業務上事案の性・年齢、疾患名、業種、及び出来事別の推移を俯瞰した。精神障害事案の性・年齢、疾患名、業種、及び出来事別の構成割合に、年度間で顕著な相違は見られなかった。

その一方、精神障害の労災認定基準の改定が行われた平成 23 年度から同 24 年度にかけて、

事案数は平成 23 年度の 325 件から同 24 年度には 475 件と 150 件増加していた。精神障害による労災の業務上外の決定が当該年度内に行われた件数（決定件数）は、平成 23 年度には 1,074 件、同 24 年度では 1,217 件であり、支給決定件数を決定件数で除した認定率は平成 23 年度から同 24 年度にかけて 10 ポイントほど上昇している。平成 25 年度以降も認定率が概ね同水準で推移していることから、平成 24 年度の認定事案数の増加は精神障害の労災認定基準の改定に起因する可能性が示唆される。

また、事案全体に占める割合として、決定時疾患名（表 2-2-1）では「適応障害」が、具体的出来事（表 2-5-1）では「仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事」や「2 週間以上にわたる連続勤務」「（ひどい）嫌がらせ、いじめ、又は暴行」などが近年増加傾向にあることがうかがえた。疾患名については、本研究の分析対象期間では一貫して ICD-10 に基づいて決定されており、別の要因が疾患別の動向に影響している可能性が考えられる。出来事については、「仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事」や「2 週間以上にわたる連続勤務」といった長時間労働に関連する出来事とともに、「（ひどい）嫌がらせ、いじめ、又は暴行」といった職場の対人関係面の出来事も増加の傾向が見受けられることは今後も注視すべきである。

本研究で分析対象とした平成 22~28 年度には、精神障害の労災認定基準の改訂、「過労死等防止対策推進法」ならびに「過労死等の防止のための対策に関する大綱」の施行・策定など、精神障害の労災認定の動向に影響を及ぼし得る要因が認められる。このような背景要因により、精神障害の労災認定事案の年度別の動向に上記のような変化が示唆された可能性は否定できない。今後の過労死等防止対策のさらなる推進及び対策の評価を進めるうえで、継続的かつ詳細な労災認定事案のモニタリングが重要である。

3. 事案データベースの課題

「B. 研究方法」に記したように、平成 22 年~26 年度データベースは過労死等防止調査研究センターが全国の局署から収集した調査復命書等資料のデータと厚生労働省から提供されたデータを結合して作成した。その調査復命書等資料には、調査復命書ではなく、その他の資料を基に項目に該当するデータを抽出せざるを得ない事案が少なからずあり（5%程度）、

調査復命書に適合する項目がない場合は「記載なし／不明」として処理している。そのため、事案データベースの平成 22～26 年度分には「記載なし／不明」が若干多く、本報告書における表 1-4-1～1-4-3、表 2-4-1～2-5-3 中の件数は過少となっている可能性がある。今後、資料の精査等を検討し、データが得られれば補完していく。

E. 結論

平成 22～28 年度の 7 年間の脳・心臓疾患及び精神障害の業務上事案についてのデータベースを構築し、性・年齢、疾患名、業種、健康管理状況等及び出来事別の推移について報告した。両事案とも性・年齢、疾患名、業種といった項目には年度間で顕著な相違は見られなかった。一方、脳・心臓疾患事案では、被災者の事業場が就業規則及び賃金規程を有する割合、健康診断及び面接指導の実施率が近年増加傾向、また、精神障害事案では出来事（業務による心理的負荷）の「仕事内容・仕事量の（大きな）変化を生じさせる出来事」や「2 週間以上にわたる連続勤務」「（ひどい）嫌がらせ、いじめ、又は暴行」などが近年増加傾向にあることがうかがえた。今後の過労死等防止対策の推進の方向性を定め、更にその対策を評価する指標としても、継続的かつ詳細な業務上事案のモニタリングは重要である。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 論文発表

- 1) Masaya Takahashi. Sociomedical problems of overwork-related deaths and disorders in Japan. (in press)
- 2) Takashi Yamauchi T, Takeshi Sasaki, Toru Yoshikawa, Shun Matsumoto, Masaya Takahashi. Incidence of overwork-related mental disorders and suicide in Japan. *Occup Med-Oxford*. 2018; 68(6): 370-377.
- 3) Yamauchi T, Sasaki T, Yoshikawa T, Matsumoto S, Takahashi M, Suka M, Yanagisawa H. Differences in work-related adverse events by sex and industry in cases involving compensation for mental disorders and suicide in Japan from 2010 to 2014. *J Occup Environ Med*. 2018; 60(4): e178-

e182.

2. 学会発表

- 1) 山内貴史, 佐々木毅, 吉川徹, 高橋正也, 菅知絵美, 須賀万智, 柳澤裕之 (2019) 2010 年以降のわが国における過労自殺の労災認定事案の分析. 第 28 回日本疫学会学術総会, 講演集, p135.
- 2) Chiemi Kan, Toru Yoshikawa, Takashi Yamauchi, Takeshi Sasaki, Masaya Takahashi (2018) Psychological burden caused by work-related events in five priority industries among Japanese, The 28th Korea-China-Japan Conference on Occupational Health, Program and Abstract Book, p75.
- 3) 高田琢弘, 吉川徹, 佐々木毅, 松元俊, 山内貴史, 菅知絵美, 高橋正也 (2018) わが国における 2010 年～2015 年の脳・心臓疾患の労災業務外事案のデータベース作成と分析. 第 91 回日本産業衛生学会, 産業衛生学雑誌, Vol. 60, (Suppl.), p. 375.
- 4) 菅知絵美, 山内貴史, 吉川徹, 佐々木毅, 松元俊, 高田琢弘, 高橋正也 (2018) 過労死等の重点 5 業種における精神障害・自殺の労災認定事案の特性. 第 91 回日本産業衛生学会, 産業衛生学雑誌, Vol. 60, (Suppl.), p. 492.

H. 知的財産権の出願・登録状況（予定を含む。）

なし

表 1-1-1 請求時・発症時・死亡時年齢（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、男女）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	285		310		338		306		277		251		260		2027	
(年度別%)	(14.1)		(15.3)		(16.7)		(15.1)		(13.7)		(12.4)		(12.8)		(100)	
請求時年齢																
[M, SD]	[49.9, 9.3]		[51.3, 9.6]		[49.2, 9.7]		[49.6, 10.1]		[49.1, 9.4]		[50.7, 9.5]		[48.7, 9.5]		[49.8, 9.6]	
発症時年齢																
[M, SD]	[49.3, 9.4]		[50.8, 9.5]		[48.7, 9.7]		[49.1, 10.1]		[48.6, 9.5]		[49.2, 9.9]		[49.2, 9.3]		[49.3, 9.7]	
29歳以下	5 (1.8)		7 (2.3)		9 (2.7)		13 (4.2)		7 (2.5)		6 (2.4)		4 (1.5)		51 (2.5)	
30-39歳	37 (13.0)		29 (9.4)		56 (16.6)		43 (14.1)		39 (14.1)		36 (14.3)		34 (13.1)		274 (13.5)	
40-49歳	98 (34.4)		95 (30.6)		113 (33.4)		93 (30.4)		93 (33.6)		80 (31.9)		90 (34.6)		662 (32.7)	
50-59歳	105 (36.8)		117 (37.7)		118 (34.9)		107 (35.0)		111 (40.1)		91 (36.3)		99 (38.1)		748 (36.9)	
60-69歳	36 (12.6)		58 (18.7)		37 (10.9)		47 (15.4)		24 (8.7)		31 (12.4)		30 (11.5)		263 (13.0)	
70歳以上	4 (1.4)		4 (1.3)		5 (1.5)		3 (1.0)		3 (1.1)		7 (2.8)		3 (1.2)		29 (1.4)	
合計	285 (100)		310 (100)		338 (100)		306 (100)		277 (100)		251 (100)		260 (100)		2027 (100)	
死亡時年齢																
[M, SD]	[47.3, 9.1]		[49.3, 9.9]		[45.7, 9.3]		[48.0, 9.8]		[47.5, 10.6]		[46.6, 9.2]		[47.7, 9.6]		[47.5, 9.7]	
29歳以下	2 (1.8)		6 (5.0)		6 (4.9)		6 (4.5)		5 (4.1)		3 (3.1)		2 (1.9)		30 (3.7)	
30-39歳	19 (16.8)		10 (8.3)		32 (26.0)		19 (14.3)		21 (17.4)		15 (15.6)		17 (15.9)		133 (16.3)	
40-49歳	43 (38.1)		40 (33.1)		43 (35.0)		47 (35.3)		42 (34.7)		39 (40.6)		38 (35.5)		292 (35.9)	
50-59歳	38 (33.6)		47 (38.8)		32 (26.0)		46 (34.6)		40 (33.1)		32 (33.3)		38 (35.5)		273 (33.5)	
60-69歳	11 (9.7)		16 (13.2)		10 (8.1)		14 (10.5)		12 (9.9)		7 (7.3)		11 (10.3)		81 (10.0)	
70歳以上	0 (0.0)		2 (1.7)		0 (0.0)		1 (0.8)		1 (0.8)		0 (0.0)		1 (0.9)		5 (0.6)	
合計	113 (100)		121 (100)		123 (100)		133 (100)		121 (100)		96 (100)		107 (100)		814 (100)	

表 1-1-2 請求時・発症時・死亡時年齢（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、男性）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	272		296		324		298		262		240		248		1940	
(年度別%)	(14.0)		(15.3)		(16.7)		(15.4)		(13.5)		(12.4)		(12.8)		(100)	
請求時年齢																
[M, SD]	[49.9, 9.0]		[51.3, 9.5]		[49.3, 9.6]		[49.6, 9.8]		[49.2, 9.3]		[50.6, 9.6]		[48.5, 9.4]		[49.8, 9.5]	
発症時年齢																
[M, SD]	[49.3, 9.1]		[50.8, 9.4]		[48.7, 9.6]		[49.1, 9.8]		[48.7, 9.4]		[49.0, 9.8]		[48.9, 9.3]		[49.3, 9.5]	
29歳以下	3 (1.1)		7 (2.4)		8 (2.5)		12 (4.0)		7 (2.7)		6 (2.5)		4 (1.6)		47 (2.4)	
30-39歳	36 (13.2)		26 (8.8)		54 (16.7)		41 (13.8)		35 (13.4)		33 (13.8)		34 (13.7)		259 (13.4)	
40-49歳	96 (35.3)		92 (31.1)		108 (33.3)		92 (30.9)		90 (34.4)		78 (32.5)		88 (35.5)		644 (33.2)	
50-59歳	101 (37.1)		113 (38.2)		114 (35.2)		107 (35.9)		104 (39.7)		90 (37.5)		91 (36.7)		720 (37.1)	
60-69歳	33 (12.1)		54 (18.2)		35 (10.8)		44 (14.8)		23 (8.8)		27 (11.3)		29 (11.7)		245 (12.6)	
70歳以上	3 (1.1)		4 (1.4)		5 (1.5)		2 (0.7)		3 (1.1)		6 (2.5)		2 (0.8)		25 (1.3)	
合計	272 (100)		296 (100)		324 (100)		298 (100)		262 (100)		240 (100)		248 (100)		1940 (100)	
死亡時年齢																
[M, SD]	[47.3, 8.9]		[49.1, 9.8]		[45.9, 9.3]		[48.0, 9.7]		[47.8, 10.5]		[46.4, 9.1]		[47.6, 9.7]		[47.5, 9.6]	
29歳以下	1 (0.9)		6 (5.1)		6 (5.0)		6 (4.6)		5 (4.2)		3 (3.2)		2 (1.9)		29 (3.7)	
30-39歳	19 (17.6)		10 (8.5)		30 (25.0)		18 (13.7)		19 (16.1)		15 (15.8)		17 (16.3)		128 (16.1)	
40-49歳	42 (38.9)		39 (33.3)		42 (35.0)		47 (35.9)		41 (34.7)		39 (41.1)		38 (36.5)		288 (36.3)	
50-59歳	35 (32.4)		46 (39.3)		32 (26.7)		46 (35.1)		40 (33.9)		32 (33.7)		35 (33.7)		266 (33.5)	
60-69歳	11 (10.2)		14 (12.0)		10 (8.3)		13 (9.9)		12 (10.2)		6 (6.3)		11 (10.6)		77 (9.7)	
70歳以上	0 (0.0)		2 (1.7)		0 (0.0)		1 (0.8)		1 (0.8)		0 (0.0)		1 (1.0)		5 (0.6)	
合計	108 (100)		117 (100)		120 (100)		131 (100)		118 (100)		95 (100)		104 (100)		793 (100)	

表 1-1-3 請求時・発症時・死亡時年齢（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、女性）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	13		14		14		8		15		11		12		87	
(年度別%)	(14.9)		(16.1)		(16.1)		(9.2)		(17.2)		(12.6)		(13.8)		(100)	
請求時年齢																
[M, SD]	[49.8, 14.5]		[51.1, 11.5]		[47.6, 12.1]		[49.8, 18.9]		[47.2, 10.8]		[54.0, 9.0]		[51.1, 11.2]		[49.9, 12.2]	
発症時年齢																
[M, SD]	[49.5, 14.9]		[50.7, 11.6]		[47.4, 12.0]		[49.6, 18.8]		[46.7, 10.8]		[52.6, 12.9]		[54.0, 9.2]		[49.9, 12.5]	
29歳以下	2 (15.4)		0 (0.0)		1 (7.1)		1 (12.5)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		4 (4.6)	
30-39歳	1 (7.7)		3 (21.4)		2 (14.3)		2 (25.0)		4 (26.7)		3 (27.3)		0 (0.0)		15 (17.2)	
40-49歳	2 (15.4)		3 (21.4)		5 (35.7)		1 (12.5)		3 (20.0)		2 (18.2)		2 (16.7)		18 (20.7)	
50-59歳	4 (30.8)		4 (28.6)		4 (28.6)		0 (0.0)		7 (46.7)		1 (9.1)		8 (66.7)		28 (32.2)	
60-69歳	3 (23.1)		4 (28.6)		2 (14.3)		3 (37.5)		1 (6.7)		4 (36.4)		1 (8.3)		18 (20.7)	
70歳以上	1 (7.7)		0 (0.0)		0 (0.0)		1 (12.5)		0 (0.0)		1 (9.1)		1 (8.3)		4 (4.6)	
合計	13 (100)		14 (100)		14 (100)		8 (100)		15 (100)		11 (100)		12 (100)		87 (100)	
死亡時年齢																
[M, SD]	[47.0, 14.1]		[55.0, 10.1]		[37.7, 3.5]		[48.5, 21.9]		[35.3, 5.1]		[62.0, .]		[50.3, 0.6]		[46.9, 11.9]	
29歳以下	1 (20.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		1 (4.8)	
30-39歳	0 (0.0)		0 (0.0)		2 (66.7)		1 (50.0)		2 (66.7)		0 (0.0)		0 (0.0)		5 (23.8)	
40-49歳	1 (20.0)		1 (25.0)		1 (33.3)		0 (0.0)		1 (33.3)		0 (0.0)		0 (0.0)		4 (19.0)	
50-59歳	3 (60.0)		1 (25.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		3 (100)		7 (33.3)	
60-69歳	0 (0.0)		2 (50.0)		0 (0.0)		1 (50.0)		0 (0.0)		1 (100)		0 (0.0)		4 (19.0)	
70歳以上	0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)	
合計	5 (100)		4 (100)		3 (100)		2 (100)		3 (100)		1 (100)		3 (100)		21 (100)	

表 1-2-1 決定時疾患名、前駆症状（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、男女）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	285		310		338		306		277		251		260		2027	
(年度別%)	(14.1)		(15.3)		(16.7)		(15.1)		(13.7)		(12.4)		(12.8)		(100)	
決定時疾患名																
脳血管疾患																
	174	(61.1)	201	(64.8)	212	(62.7)	183	(59.8)	173	(62.5)	162	(64.5)	154	(59.2)	1259	(62.1)
脳内出血(脳出血)	73	(25.6)	98	(31.6)	102	(30.2)	86	(28.1)	75	(27.1)	90	(35.9)	78	(30.0)	602	(29.7)
くも膜下出血	60	(21.1)	55	(17.7)	61	(18.0)	55	(18.0)	49	(17.7)	45	(17.9)	37	(14.2)	362	(17.9)
脳梗塞	41	(14.4)	47	(15.2)	45	(13.3)	41	(13.4)	41	(14.8)	27	(10.8)	38	(14.6)	280	(13.8)
高血圧性脳症	0	(0.0)	1	(0.3)	4	(1.2)	1	(0.3)	8	(2.9)	0	(0.0)	1	(0.4)	15	(0.7)
心臓疾患																
	111	(38.9)	109	(35.2)	126	(37.3)	123	(40.2)	104	(37.5)	89	(35.5)	106	(40.8)	768	(37.9)
心筋梗塞	50	(17.5)	51	(16.5)	61	(18.0)	54	(17.6)	37	(13.4)	30	(12.0)	41	(15.8)	324	(16.0)
狭心症	2	(0.7)	4	(1.3)	5	(1.5)	4	(1.3)	3	(1.1)	5	(2.0)	5	(1.9)	28	(1.4)
心停止(心臓性突然死を含む。)	45	(15.8)	41	(13.2)	49	(14.5)	49	(16.0)	41	(14.8)	36	(14.3)	40	(15.4)	301	(14.8)
解離性大動脈瘤	14	(4.9)	13	(4.2)	11	(3.3)	16	(5.2)	23	(8.3)	18	(7.2)	20	(7.7)	115	(5.7)
前駆症状																
前駆症状あり	59	(20.7)	58	(18.7)	62	(18.3)	54	(17.6)	50	(18.1)	49	(19.5)	52	(20.0)	384	(18.9)
頭痛	23	(8.1)	22	(7.1)	31	(9.2)	19	(6.2)	21	(7.6)	18	(7.2)	24	(9.2)	158	(7.8)
胸部痛	11	(3.9)	7	(2.3)	10	(3.0)	11	(3.6)	8	(2.9)	10	(4.0)	6	(2.3)	63	(3.1)
その他	42	(14.7)	40	(12.9)	37	(10.9)	30	(9.8)	35	(12.6)	22	(8.8)	24	(9.2)	230	(11.3)

表 1-2-2 決定時疾患名、前駆症状（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、男性）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	272		296		324		298		262		240		248		1940	
(年度別%)	(14.0)		(15.3)		(16.7)		(15.4)		(13.5)		(12.4)		(12.8)		(100)	
決定時疾患名																
脳血管疾患																
	163	(59.9)	188	(63.5)	199	(61.4)	175	(58.7)	160	(61.1)	153	(63.8)	144	(58.1)	1182	(60.9)
脳内出血(脳出血)	68	(25.0)	92	(31.1)	96	(29.6)	82	(27.5)	71	(27.1)	84	(35.0)	72	(29.0)	565	(29.1)
くも膜下出血	54	(19.9)	50	(16.9)	56	(17.3)	52	(17.4)	42	(16.0)	43	(17.9)	34	(13.7)	331	(17.1)
脳梗塞	41	(15.1)	45	(15.2)	43	(13.3)	40	(13.4)	40	(15.3)	26	(10.8)	37	(14.9)	272	(14.0)
高血圧性脳症	0	(0.0)	1	(0.3)	4	(1.2)	1	(0.3)	7	(2.7)	0	(0.0)	1	(0.4)	14	(0.7)
心臓疾患																
	109	(40.1)	108	(36.5)	125	(38.6)	123	(41.3)	102	(38.9)	87	(36.3)	104	(41.9)	758	(39.1)
心筋梗塞	50	(18.4)	51	(17.2)	60	(18.5)	54	(18.1)	37	(14.1)	28	(11.7)	40	(16.1)	320	(16.5)
狭心症	2	(0.7)	4	(1.4)	5	(1.5)	4	(1.3)	3	(1.1)	5	(2.1)	4	(1.6)	27	(1.4)
心停止(心臓性突然死を含む。)	43	(15.8)	40	(13.5)	49	(15.1)	49	(16.4)	40	(15.3)	36	(15.0)	40	(16.1)	297	(15.3)
解離性大動脈瘤	14	(5.1)	13	(4.4)	11	(3.4)	16	(5.4)	22	(8.4)	18	(7.5)	20	(8.1)	114	(5.9)
前駆症状																
前駆症状あり	57	(21.0)	56	(18.9)	60	(18.5)	54	(18.1)	47	(17.9)	48	(20.0)	50	(20.2)	372	(19.2)
頭痛	21	(7.7)	20	(6.8)	29	(9.0)	19	(6.4)	18	(6.9)	17	(7.1)	22	(8.9)	146	(7.5)
胸部痛	11	(4.0)	7	(2.4)	9	(2.8)	11	(3.7)	8	(3.1)	10	(4.2)	6	(2.4)	62	(3.2)
その他	39	(14.3)	37	(12.5)	37	(11.4)	30	(10.1)	34	(13.0)	21	(8.8)	24	(9.7)	222	(11.4)

表 1-2-3 決定時疾患名、前駆症状（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、女性）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	13		14		14		8		15		11		12		87	
(年度別%)	(14.9)		(16.1)		(16.1)		(9.2)		(17.2)		(12.6)		(13.8)		(100)	
決定時疾患名																
脳血管疾患																
	11	(84.6)	13	(92.9)	13	(92.9)	8	(100.0)	13	(86.7)	9	(81.8)	10	(83.3)	77	(88.5)
脳内出血(脳出血)	5	(38.5)	6	(42.9)	6	(42.9)	4	(50.0)	4	(26.7)	6	(54.5)	6	(50.0)	37	(42.5)
くも膜下出血	6	(46.2)	5	(35.7)	5	(35.7)	3	(37.5)	7	(46.7)	2	(18.2)	3	(25.0)	31	(35.6)
脳梗塞	0	(0.0)	2	(14.3)	2	(14.3)	1	(12.5)	1	(6.7)	1	(9.1)	1	(8.3)	8	(9.2)
高血圧性脳症	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.1)
心臓疾患																
	2	(15.4)	1	(7.1)	1	(7.1)	0	(0.0)	2	(13.3)	2	(18.2)	2	(16.7)	10	(11.5)
心筋梗塞	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(18.2)	1	(8.3)	4	(4.6)
狭心症	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(8.3)	1	(1.1)
心停止(心臓性突然死を含む。)	2	(15.4)	1	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(4.6)
解離性大動脈瘤	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.1)
前駆症状																
前駆症状あり	2	(15.4)	2	(14.3)	2	(14.3)	0	(0.0)	3	(20.0)	1	(9.1)	2	(16.7)	12	(13.8)
頭痛	2	(15.4)	2	(14.3)	2	(14.3)	0	(0.0)	3	(20.0)	1	(9.1)	2	(16.7)	12	(13.8)
胸部痛	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.1)
その他	3	(23.1)	3	(21.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.7)	1	(9.1)	0	(0.0)	8	(9.2)

表 1-3-1 業種(大分類)、職種(大分類) (平成 22~28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、男女)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
業種(大分類)																
運輸業, 郵便業	78	(27.4)	93	(30.0)	91	(26.9)	107	(35.0)	92	(33.2)	96	(38.2)	97	(37.3)	654	(32.3)
卸売業・小売業	53	(18.6)	48	(15.5)	49	(14.5)	38	(12.4)	35	(12.6)	35	(13.9)	29	(11.2)	287	(14.2)
製造業	35	(12.3)	41	(13.2)	42	(12.4)	36	(11.8)	31	(11.2)	34	(13.5)	41	(15.8)	260	(12.8)
建設業	22	(7.7)	37	(11.9)	38	(11.2)	27	(8.8)	28	(10.1)	28	(11.2)	18	(6.9)	198	(9.8)
サービス業(他に分類されないもの)	20	(7.0)	24	(7.7)	29	(8.6)	23	(7.5)	22	(7.9)	8	(3.2)	10	(3.8)	136	(6.7)
宿泊業, 飲食サービス業	19	(6.7)	26	(8.4)	24	(7.1)	20	(6.5)	24	(8.7)	22	(8.8)	20	(7.7)	155	(7.6)
情報通信業	15	(5.3)	5	(1.6)	15	(4.4)	7	(2.3)	9	(3.2)	11	(4.4)	9	(3.5)	71	(3.5)
医療, 福祉	10	(3.5)	10	(3.2)	11	(3.3)	8	(2.6)	6	(2.2)	5	(2.0)	10	(3.8)	60	(3.0)
学術研究, 専門・技術サービス業	6	(2.1)	3	(1.0)	12	(3.6)	13	(4.2)	10	(3.6)	4	(1.6)	8	(3.1)	56	(2.8)
生活関連サービス業, 娯楽業	8	(2.8)	10	(3.2)	4	(1.2)	11	(3.6)	2	(0.7)	2	(0.8)	4	(1.5)	41	(2.0)
不動産業, 物品賃貸業	4	(1.4)	5	(1.6)	8	(2.4)	6	(2.0)	4	(1.4)	3	(1.2)	2	(0.8)	32	(1.6)
教育, 学習支援業	6	(2.1)	1	(0.3)	5	(1.5)	5	(1.6)	6	(2.2)	0	(0.0)	3	(1.2)	26	(1.3)
漁業	2	(0.7)	3	(1.0)	5	(1.5)	2	(0.7)	2	(0.7)	1	(0.4)	3	(1.2)	18	(0.9)
金融業・保険業	3	(1.1)	3	(1.0)	1	(0.3)	1	(0.3)	2	(0.7)	2	(0.8)	1	(0.4)	13	(0.6)
農業, 林業	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	0	(0.0)	3	(1.1)	0	(0.0)	1	(0.4)	8	(0.4)
複合サービス事業	2	(0.7)	1	(0.3)	2	(0.6)	1	(0.3)	1	(0.4)	0	(0.0)	1	(0.4)	8	(0.4)
電気・ガス・熱供給・水道業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.8)	3	(0.1)
公務(他に分類されるものを除く)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
鉱業, 採石業, 砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.0)
合計	285	(100)	310	(100)	338	(100)	306	(100)	277	(100)	251	(100)	260	(100)	2027	(100)
職種(大分類)																
輸送・機械運転従事者	69	(24.2)	89	(28.7)	86	(25.4)	95	(31.0)	88	(31.8)	88	(35.1)	90	(34.6)	605	(29.8)
専門的・技術的職業従事者	40	(14.0)	37	(11.9)	62	(18.3)	37	(12.1)	44	(15.9)	33	(13.1)	30	(11.5)	283	(14.0)
販売従事者	30	(10.5)	30	(9.7)	39	(11.5)	38	(12.4)	26	(9.4)	34	(13.5)	23	(8.8)	220	(10.9)
サービス職業従事者	28	(9.8)	32	(10.3)	36	(10.7)	27	(8.8)	30	(10.8)	20	(8.0)	23	(8.8)	196	(9.7)
管理的職業従事者	30	(10.5)	32	(10.3)	26	(7.7)	27	(8.8)	37	(13.4)	27	(10.8)	26	(10.0)	205	(10.1)
事務従事者	44	(15.4)	27	(8.7)	30	(8.9)	26	(8.5)	15	(5.4)	15	(6.0)	10	(3.8)	167	(8.2)
生産工程従事者	12	(4.2)	21	(6.8)	21	(6.2)	19	(6.2)	14	(5.1)	13	(5.2)	27	(10.4)	127	(6.3)
建設・採掘従事者	10	(3.5)	18	(5.8)	19	(5.6)	17	(5.6)	11	(4.0)	8	(3.2)	14	(5.4)	97	(4.8)
保安職業従事者	9	(3.2)	11	(3.5)	10	(3.0)	6	(2.0)	4	(1.4)	3	(1.2)	4	(1.5)	47	(2.3)
運搬・清掃・包装等従事者	9	(3.2)	10	(3.2)	3	(0.9)	11	(3.6)	3	(1.1)	9	(3.6)	9	(3.5)	54	(2.7)
農林漁業従事者	4	(1.4)	3	(1.0)	6	(1.8)	3	(1.0)	5	(1.8)	1	(0.4)	4	(1.5)	26	(1.3)
運輸・通信従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	285	(100)	310	(100)	338	(100)	306	(100)	277	(100)	251	(100)	260	(100)	2027	(100)

表 1-3-2 業種(大分類)、職種(大分類) (平成 22~28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、男性)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
業種(大分類)																
運輸業、郵便業	75	(27.6)	93	(31.4)	89	(27.5)	106	(35.6)	91	(34.7)	93	(38.8)	96	(38.7)	643	(33.1)
卸売業・小売業	50	(18.4)	46	(15.5)	47	(14.5)	37	(12.4)	30	(11.5)	32	(13.3)	26	(10.5)	268	(13.8)
製造業	35	(12.9)	38	(12.8)	41	(12.7)	34	(11.4)	29	(11.1)	32	(13.3)	40	(16.1)	249	(12.8)
建設業	22	(8.1)	37	(12.5)	38	(11.7)	27	(9.1)	28	(10.7)	28	(11.7)	18	(7.3)	198	(10.2)
サービス業(他に分類されないもの)	20	(7.4)	24	(8.1)	28	(8.6)	22	(7.4)	22	(8.4)	7	(2.9)	7	(2.8)	130	(6.7)
宿泊業、飲食サービス業	18	(6.6)	22	(7.4)	23	(7.1)	19	(6.4)	22	(8.4)	22	(9.2)	18	(7.3)	144	(7.4)
情報通信業	14	(5.1)	5	(1.7)	13	(4.0)	6	(2.0)	8	(3.1)	11	(4.6)	9	(3.6)	66	(3.4)
医療、福祉	7	(2.6)	8	(2.7)	8	(2.5)	8	(2.7)	5	(1.9)	3	(1.3)	9	(3.6)	48	(2.5)
学術研究、専門・技術サービス業	5	(1.8)	3	(1.0)	11	(3.4)	13	(4.4)	9	(3.4)	4	(1.7)	8	(3.2)	53	(2.7)
生活関連サービス業、娯楽業	8	(2.9)	8	(2.7)	4	(1.2)	10	(3.4)	2	(0.8)	2	(0.8)	4	(1.6)	38	(2.0)
不動産業、物品賃貸業	4	(1.5)	5	(1.7)	8	(2.5)	6	(2.0)	4	(1.5)	3	(1.3)	2	(0.8)	32	(1.6)
教育、学習支援業	6	(2.2)	1	(0.3)	4	(1.2)	5	(1.7)	5	(1.9)	0	(0.0)	2	(0.8)	23	(1.2)
漁業	2	(0.7)	3	(1.0)	5	(1.5)	2	(0.7)	2	(0.8)	1	(0.4)	3	(1.2)	18	(0.9)
金融業・保険業	2	(0.7)	3	(1.0)	1	(0.3)	1	(0.3)	2	(0.8)	2	(0.8)	1	(0.4)	12	(0.6)
農業、林業	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.8)	0	(0.0)	1	(0.4)	7	(0.4)
複合サービス事業	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	1	(0.3)	1	(0.4)	0	(0.0)	1	(0.4)	7	(0.4)
電気・ガス・熱供給・水道業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.8)	3	(0.2)
公務(他に分類されるものを除く)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.1)
合計	272	(100)	296	(100)	324	(100)	298	(100)	262	(100)	240	(100)	248	(100)	1940	(100)
職種(大分類)																
輸送・機械運転従事者	68	(25.0)	89	(30.1)	86	(26.5)	94	(31.5)	87	(33.2)	86	(35.8)	90	(36.3)	600	(30.9)
専門的・技術的職業従事者	37	(13.6)	36	(12.2)	56	(17.3)	35	(11.7)	42	(16.0)	32	(13.3)	29	(11.7)	267	(13.8)
販売従事者	28	(10.3)	29	(9.8)	37	(11.4)	37	(12.4)	20	(7.6)	32	(13.3)	20	(8.1)	203	(10.5)
サービス職業従事者	27	(9.9)	28	(9.5)	34	(10.5)	25	(8.4)	27	(10.3)	20	(8.3)	21	(8.5)	182	(9.4)
管理的職業従事者	29	(10.7)	31	(10.5)	26	(8.0)	27	(9.1)	36	(13.7)	27	(11.3)	25	(10.1)	201	(10.4)
事務従事者	39	(14.3)	23	(7.8)	26	(8.0)	26	(8.7)	15	(5.7)	11	(4.6)	9	(3.6)	149	(7.7)
生産工程従事者	12	(4.4)	18	(6.1)	21	(6.5)	17	(5.7)	13	(5.0)	12	(5.0)	26	(10.5)	119	(6.1)
建設・採掘従事者	10	(3.7)	18	(6.1)	19	(5.9)	17	(5.7)	11	(4.2)	8	(3.3)	14	(5.6)	97	(5.0)
保安職業従事者	9	(3.3)	11	(3.7)	10	(3.1)	6	(2.0)	4	(1.5)	3	(1.3)	4	(1.6)	47	(2.4)
運搬・清掃・包装等従事者	9	(3.3)	10	(3.4)	3	(0.9)	11	(3.7)	3	(1.1)	8	(3.3)	6	(2.4)	50	(2.6)
農林漁業従事者	4	(1.5)	3	(1.0)	6	(1.9)	3	(1.0)	4	(1.5)	1	(0.4)	4	(1.6)	25	(1.3)
運輸・通信従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	272	(100)	296	(100)	324	(100)	298	(100)	262	(100)	240	(100)	248	(100)	1940	(100)

表 1-3-3 業種(大分類)、職種(大分類) (平成 22~28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、女性)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
業種(大分類)																
運輸業、郵便業	3	(23.1)	0	(0.0)	2	(14.3)	1	(12.5)	1	(6.7)	3	(27.3)	1	(8.3)	11	(12.6)
卸売業・小売業	3	(23.1)	2	(14.3)	2	(14.3)	1	(12.5)	5	(33.3)	3	(27.3)	3	(25.0)	19	(21.8)
製造業	0	(0.0)	3	(21.4)	1	(7.1)	2	(25.0)	2	(13.3)	2	(18.2)	1	(8.3)	11	(12.6)
建設業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
サービス業(他に分類されないもの)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(7.1)	1	(12.5)	0	(0.0)	1	(9.1)	3	(25.0)	6	(6.9)
宿泊業、飲食サービス業	1	(7.7)	4	(28.6)	1	(7.1)	1	(12.5)	2	(13.3)	0	(0.0)	2	(16.7)	11	(12.6)
情報通信業	1	(7.7)	0	(0.0)	2	(14.3)	1	(12.5)	1	(6.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(5.7)
医療、福祉	3	(23.1)	2	(14.3)	3	(21.4)	0	(0.0)	1	(6.7)	2	(18.2)	1	(8.3)	12	(13.8)
学術研究、専門・技術サービス業	1	(7.7)	0	(0.0)	1	(7.1)	0	(0.0)	1	(6.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(3.4)
生活関連サービス業、娯楽業	0	(0.0)	2	(14.3)	0	(0.0)	1	(12.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(3.4)
不動産業、物品賃貸業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
教育、学習支援業	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(7.1)	0	(0.0)	1	(6.7)	0	(0.0)	1	(8.3)	3	(3.4)
漁業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
金融業・保険業	1	(7.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.1)
農業、林業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.1)
複合サービス事業	0	(0.0)	1	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.1)
電気・ガス・熱供給・水道業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
公務(他に分類されるものを除く)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	13	(100)	14	(100)	14	(100)	8	(100)	15	(100)	11	(100)	12	(100)	87	(100)
職種(大分類)																
輸送・機械運転従事者	1	(7.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(12.5)	1	(6.7)	2	(18.2)	0	(0.0)	5	(5.7)
専門的・技術的職業従事者	3	(23.1)	1	(7.1)	6	(42.9)	2	(25.0)	2	(13.3)	1	(9.1)	1	(8.3)	16	(18.4)
販売従事者	2	(15.4)	1	(7.1)	2	(14.3)	1	(12.5)	6	(40.0)	2	(18.2)	3	(25.0)	17	(19.5)
サービス職業従事者	1	(7.7)	4	(28.6)	2	(14.3)	2	(25.0)	3	(20.0)	0	(0.0)	2	(16.7)	14	(16.1)
管理的職業従事者	1	(7.7)	1	(7.1)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.7)	0	(0.0)	1	(8.3)	4	(4.6)
事務従事者	5	(38.5)	4	(28.6)	4	(28.6)	0	(0.0)	0	(0.0)	4	(36.4)	1	(8.3)	18	(20.7)
生産工程従事者	0	(0.0)	3	(21.4)	0	(0.0)	2	(25.0)	1	(6.7)	1	(9.1)	1	(8.3)	8	(9.2)
建設・採掘従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
保安職業従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
運搬・清掃・包装等従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(9.1)	3	(25.0)	4	(4.6)
農林漁業従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(6.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.1)
運輸・通信従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	13	(100)	14	(100)	14	(100)	8	(100)	15	(100)	11	(100)	12	(100)	87	(100)

表 1-4-1 出退勤の管理状況、就業規則等、発症 6 か月前の労働時間以外の負荷要因・時間外労働時間数（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、男女）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	285		310		338		306		277		251		260		2027	
(年度別%)	(14.1)		(15.3)		(16.7)		(15.1)		(13.7)		(12.4)		(12.8)		(100)	
出退勤の管理状況																
タイムカード	72	(25.3)	89	(28.7)	102	(30.2)	104	(34.0)	70	(25.3)	86	(34.3)	105	(40.4)	628	(31.0)
出勤簿	69	(24.2)	73	(23.5)	86	(25.4)	86	(28.1)	68	(24.5)	70	(27.9)	64	(24.6)	516	(25.5)
管理者による確認	41	(14.4)	57	(18.4)	64	(18.9)	50	(16.3)	42	(15.2)	50	(19.9)	41	(15.8)	345	(17.0)
本人の申告	60	(21.1)	67	(21.6)	90	(26.6)	70	(22.9)	71	(25.6)	67	(26.7)	54	(20.8)	479	(23.6)
就業規則等																
就業規則あり	211	(74.0)	227	(73.2)	275	(81.4)	252	(82.4)	201	(72.6)	219	(87.3)	222	(85.4)	1607	(79.3)
賃金規程あり	189	(66.3)	202	(65.2)	247	(73.1)	228	(74.5)	177	(63.9)	203	(80.9)	203	(78.1)	1449	(71.5)
健康診断あり	188	(66.0)	201	(64.8)	235	(69.5)	206	(67.3)	192	(69.3)	216	(86.1)	217	(83.5)	1455	(71.8)
面接指導あり	10	(3.5)	7	(2.3)	9	(2.7)	7	(2.3)	5	(1.8)	9	(3.6)	11	(4.2)	58	(2.9)
既往歴あり	90	(31.6)	98	(31.6)	125	(37.0)	107	(35.0)	89	(32.1)	99	(39.4)	104	(40.0)	712	(35.1)
発症前6か月の労働時間以外の負荷要因																
不規則な勤務	34	(11.9)	47	(15.2)	40	(11.8)	40	(13.1)	42	(15.2)	32	(12.7)	27	(10.4)	262	(12.9)
拘束時間の長い勤務	85	(29.8)	95	(30.6)	102	(30.2)	94	(30.7)	79	(28.5)	74	(29.5)	78	(30.0)	607	(29.9)
出張の多い業務	21	(7.4)	20	(6.5)	26	(7.7)	29	(9.5)	23	(8.3)	22	(8.8)	29	(11.2)	170	(8.4)
交代勤務・深夜勤務	43	(15.1)	50	(16.1)	38	(11.2)	47	(15.4)	39	(14.1)	33	(13.1)	34	(13.1)	284	(14.0)
作業環境(温度、騒音、時差)	11	(3.9)	29	(9.4)	13	(3.8)	13	(4.2)	13	(4.7)	18	(7.2)	8	(3.1)	105	(5.2)
精神的緊張を伴う業務	38	(13.3)	52	(16.8)	35	(10.4)	27	(8.8)	34	(12.3)	19	(7.6)	30	(11.5)	235	(11.6)
発症前の時間外労働時間数																
発症前1か月 [N, M]	[273, 100.3]		[294, 96.5]		[319, 102.8]		[293, 101.1]		[250, 98.1]		[245, 99.0]		[258, 98.4]		[1932, 99.6]	
[Max]	{276.0}		{245.5}		{314.5}		{360.0}		{215.1}		{225.9}		{242.8}		{360.0}	
発症前2か月 [N, M]	[249, 95.9]		[258, 90.9]		[277, 96.6]		[262, 96.3]		[221, 97.5]		[225, 95.8]		[237, 100.7]		[1729, 96.2]	
[Max]	{253.6}		{271.0}		{316.5}		{287.0}		{249.0}		{226.5}		{224.1}		{316.5}	
発症前3か月 [N, M]	[231, 95.3]		[233, 85.6]		[253, 92.6]		[251, 96.6]		[201, 94.6]		[212, 89.7]		[222, 97.1]		[1603, 93.1]	
[Max]	{242.6}		{230.0}		{291.7}		{283.5}		{209.3}		{238.0}		{262.6}		{291.7}	
発症前4か月 [N, M]	[225, 89.9]		[225, 86.4]		[249, 91.5]		[246, 93.7]		[193, 93.4]		[210, 92.4]		[218, 91.5]		[1566, 91.2]	
[Max]	{256.8}		{263.2}		{280.0}		{288.5}		{211.0}		{220.8}		{229.8}		{288.5}	
発症前5か月 [N, M]	[217, 90.3]		[217, 84.6]		[244, 89.2]		[241, 89.3]		[188, 89.2]		[208, 90.1]		[217, 89.1]		[1532, 88.8]	
[Max]	{295.2}		{306.0}		{266.0}		{285.0}		{229.8}		{246.1}		{226.5}		{306.0}	
発症前6か月 [N, M]	[214, 86.5]		[212, 83.8]		[242, 87.5]		[239, 88.2]		[187, 84.1]		[207, 89.2]		[216, 88.2]		[1517, 86.9]	
[Max]	{250.8}		{272.0}		{315.5}		{297.0}		{277.2}		{235.2}		{250.1}		{315.5}	

表 1-4-2 出退勤の管理状況、就業規則等、発症 6 か月前の労働時間以外の負荷要因・時間外労働時間数（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、男性）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	272		296		324		298		262		240		248		1940	
(年度別%)	(14.0)		(15.3)		(16.7)		(15.4)		(13.5)		(12.4)		(12.8)		(100)	
出退勤の管理状況																
タイムカード	69	(25.4)	85	(28.7)	97	(29.9)	99	(33.2)	65	(24.8)	79	(32.9)	98	(39.5)	592	(30.5)
出勤簿	63	(23.2)	69	(23.3)	82	(25.3)	86	(28.9)	65	(24.8)	69	(28.8)	62	(25.0)	496	(25.6)
管理者による確認	38	(14.0)	55	(18.6)	62	(19.1)	49	(16.4)	42	(16.0)	48	(20.0)	41	(16.5)	335	(17.3)
本人の申告	55	(20.2)	65	(22.0)	86	(26.5)	68	(22.8)	70	(26.7)	67	(27.9)	52	(21.0)	463	(23.9)
就業規則等																
就業規則あり	202	(74.3)	219	(74.0)	264	(81.5)	247	(82.9)	190	(72.5)	209	(87.1)	212	(85.5)	1543	(79.5)
賃金規程あり	182	(66.9)	198	(66.9)	241	(74.4)	223	(74.8)	165	(63.0)	195	(81.3)	194	(78.2)	1398	(72.1)
健康診断あり	180	(66.2)	194	(65.5)	225	(69.4)	202	(67.8)	183	(69.8)	207	(86.3)	207	(83.5)	1398	(72.1)
面接指導あり	10	(3.7)	7	(2.4)	7	(2.2)	7	(2.3)	5	(1.9)	9	(3.8)	11	(4.4)	56	(2.9)
既往歴あり	84	(30.9)	95	(32.1)	123	(38.0)	105	(35.2)	87	(33.2)	95	(39.6)	98	(39.5)	687	(35.4)
発症前6か月の労働時間以外の負荷要因																
不規則な勤務	34	(12.5)	45	(15.2)	37	(11.4)	40	(13.4)	39	(14.9)	32	(13.3)	27	(10.9)	254	(13.1)
拘束時間の長い勤務	85	(31.3)	92	(31.1)	97	(29.9)	92	(30.9)	79	(30.2)	71	(29.6)	76	(30.6)	592	(30.5)
出張の多い業務	21	(7.7)	19	(6.4)	24	(7.4)	29	(9.7)	23	(8.8)	22	(9.2)	29	(11.7)	167	(8.6)
交代勤務・深夜勤務	43	(15.8)	48	(16.2)	35	(10.8)	47	(15.8)	37	(14.1)	30	(12.5)	33	(13.3)	273	(14.1)
作業環境(温度、騒音、時差)	11	(4.0)	27	(9.1)	13	(4.0)	13	(4.4)	12	(4.6)	18	(7.5)	8	(3.2)	102	(5.3)
精神的緊張を伴う業務	37	(13.6)	51	(17.2)	34	(10.5)	27	(9.1)	33	(12.6)	17	(7.1)	30	(12.1)	229	(11.8)
発症前の時間外労働時間数																
発症前1か月 [N, M]	[261, 100.7]		[280, 97.5]		[305, 102.9]		[286, 101.4]		[236, 98.0]		[234, 99.3]		[247, 98.6]		[1849, 99.9]	
[Max]	{276.0}		{245.5}		{314.5}		{360.0}		{215.1}		{225.9}		{230.8}		{360.0}	
発症前2か月 [N, M]	[239, 96.2]		[245, 90.9]		[263, 96.7]		[255, 96.1]		[210, 97.8]		[215, 95.9]		[227, 101.1]		[1654, 96.3]	
[Max]	{242.2}		{271.0}		{316.5}		{287.0}		{249.0}		{226.5}		{224.1}		{316.5}	
発症前3か月 [N, M]	[221, 95.8]		[221, 86.1]		[239, 92.8]		[244, 96.7]		[190, 94.5]		[202, 90.4]		[213, 96.6]		[1530, 93.3]	
[Max]	{232.8}		{230.0}		{291.7}		{283.5}		{209.3}		{238.0}		{240.2}		{291.7}	
発症前4か月 [N, M]	[215, 90.3]		[213, 87.1]		[235, 91.4]		[239, 93.0]		[183, 93.7]		[200, 93.1]		[209, 91.2]		[1494, 91.3]	
[Max]	{256.8}		{263.2}		{280.0}		{288.5}		{211.0}		{220.8}		{220.6}		{288.5}	
発症前5か月 [N, M]	[207, 90.8]		[205, 85.4]		[230, 90.1]		[234, 89.1]		[178, 89.0]		[198, 90.9]		[208, 89.1]		[1460, 89.2]	
[Max]	{295.2}		{306.0}		{266.0}		{285.0}		{229.8}		{246.1}		{219.3}		{306.0}	
発症前6か月 [N, M]	[204, 86.9]		[200, 84.8]		[229, 88.0]		[232, 87.9]		[177, 83.8]		[197, 90.0]		[207, 87.5]		[1446, 87.1]	
[Max]	{247.0}		{272.0}		{315.5}		{297.0}		{277.2}		{235.2}		{207.8}		{315.5}	

表 1-4-3 出退勤の管理状況、就業規則等、発症 6 か月前の労働時間以外の負荷要因・時間外労働時間数（平成 22～28 年度業務上事案、脳・心臓疾患、女性）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	13		14		14		8		15		11		12		87	
(年度別%)	(14.9)		(16.1)		(16.1)		(9.2)		(17.2)		(12.6)		(13.8)		(100)	
出退勤の管理状況																
タイムカード	3 (23.1)		4 (28.6)		5 (35.7)		5 (62.5)		5 (33.3)		7 (63.6)		7 (58.3)		36 (41.4)	
出勤簿	6 (46.2)		4 (28.6)		4 (28.6)		0 (0.0)		3 (20.0)		1 (9.1)		2 (16.7)		20 (23.0)	
管理者による確認	3 (23.1)		2 (14.3)		2 (14.3)		1 (12.5)		0 (0.0)		2 (18.2)		0 (0.0)		10 (11.5)	
本人の申告	5 (38.5)		2 (14.3)		4 (28.6)		2 (25.0)		1 (6.7)		0 (0.0)		2 (16.7)		16 (18.4)	
就業規則等																
就業規則あり	9 (69.2)		8 (57.1)		11 (78.6)		5 (62.5)		11 (73.3)		10 (90.9)		10 (83.3)		64 (73.6)	
賃金規程あり	7 (53.8)		4 (28.6)		6 (42.9)		5 (62.5)		12 (80.0)		8 (72.7)		9 (75.0)		51 (58.6)	
健康診断あり	8 (61.5)		7 (50.0)		10 (71.4)		4 (50.0)		9 (60.0)		9 (81.8)		10 (83.3)		57 (65.5)	
面接指導あり	0 (0.0)		0 (0.0)		2 (14.3)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		2 (2.3)	
既往歴あり	6 (46.2)		3 (21.4)		2 (14.3)		2 (25.0)		2 (13.3)		4 (36.4)		6 (50.0)		25 (28.7)	
発症前6か月の労働時間以外の負荷要因																
不規則な勤務	0 (0.0)		2 (14.3)		3 (21.4)		0 (0.0)		3 (20.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		8 (9.2)	
拘束時間の長い勤務	0 (0.0)		3 (21.4)		5 (35.7)		2 (25.0)		0 (0.0)		3 (27.3)		2 (16.7)		15 (17.2)	
出張の多い業務	0 (0.0)		1 (7.1)		2 (14.3)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		3 (3.4)	
交代勤務・深夜勤務	0 (0.0)		2 (14.3)		3 (21.4)		0 (0.0)		2 (13.3)		3 (27.3)		1 (8.3)		11 (12.6)	
作業環境(温度、騒音、時差)	0 (0.0)		2 (14.3)		0 (0.0)		0 (0.0)		1 (6.7)		0 (0.0)		0 (0.0)		3 (3.4)	
精神的緊張を伴う業務	1 (7.7)		1 (7.1)		1 (7.1)		0 (0.0)		1 (6.7)		2 (18.2)		0 (0.0)		6 (6.9)	
発症前の時間外労働時間数																
発症前1か月 [N, M]	[12, 92.4]		[14, 77.8]		[14, 102.6]		[7, 89.7]		[14, 100.1]		[11, 92.2]		[11, 94.3]		[83, 93.0]	
[Max]	{196.1}		{183.5}		{136.3}		{146.6}		{159.6}		{152.0}		{242.8}		{242.8}	
発症前2か月 [N, M]	[10, 90.2]		[13, 91.9]		[14, 93.8]		[7, 105.5]		[11, 92.0]		[10, 95.4]		[10, 92.2]		[75, 93.8]	
[Max]	{253.6}		{183.0}		{210.2}		{160.1}		{176.0}		{127.5}		{206.9}		{253.6}	
発症前3か月 [N, M]	[10, 84.5]		[12, 76.1]		[14, 88.5]		[7, 91.7]		[11, 96.6]		[10, 75.8]		[9, 109.2]		[73, 88.3]	
[Max]	{242.6}		{138.5}		{221.0}		{149.4}		{176.0}		{114.3}		{262.6}		{262.6}	
発症前4か月 [N, M]	[10, 83.0]		[12, 75.0]		[14, 92.7]		[7, 118.1]		[10, 87.3]		[10, 79.6]		[9, 99.3]		[72, 89.1]	
[Max]	{237.6}		{139.1}		{230.0}		{259.7}		{168.1}		{104.8}		{229.8}		{259.7}	
発症前5か月 [N, M]	[10, 80.0]		[12, 70.8]		[14, 73.9]		[7, 93.4]		[10, 92.9]		[10, 74.1]		[9, 88.8]		[72, 80.6]	
[Max]	{250.2}		{139.0}		{153.1}		{149.8}		{163.5}		{113.8}		{226.5}		{250.2}	
発症前6か月 [N, M]	[10, 78.5]		[12, 66.7]		[13, 78.0]		[7, 97.4]		[10, 88.7]		[10, 74.7]		[9, 103.2]		[71, 82.3]	
[Max]	{250.8}		{172.5}		{153.3}		{146.2}		{138.1}		{150.1}		{250.1}		{250.8}	

表 2-1-1 請求時・発症時・死亡時年齢（平成 22～28 年度業務上事案、精神障害、男女）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	308		325		475		436		497		472		498		3011	
(年度別%)	(10.2)		(10.8)		(15.8)		(14.5)		(16.5)		(15.7)		(16.5)		(100)	
請求時年齢																
[M, SD]	[40.2, 11.7]		[39.8, 11.4]		[39.9, 11.5]		[40.3, 11.1]		[40.4, 11.4]		[41.1, 10.7]		[40.6, 11.5]		[40.3, 11.3]	
発症時年齢																
[M, SD]	[39.1, 11.6]		[38.8, 11.5]		[38.9, 11.4]		[39.3, 11.1]		[39.4, 11.3]		[40.1, 10.7]		[39.5, 11.5]		[39.3, 11.3]	
19歳以下	4 (1.3)		5 (1.5)		4 (0.8)		6 (1.4)		9 (1.8)		2 (0.4)		9 (1.8)		39 (1.3)	
20-29歳	74 (24.0)		70 (21.5)		103 (21.7)		75 (17.2)		103 (20.7)		87 (18.4)		107 (21.5)		619 (20.6)	
30-39歳	87 (28.2)		110 (33.8)		148 (31.2)		162 (37.2)		139 (28.0)		137 (29.0)		136 (27.3)		919 (30.5)	
40-49歳	77 (25.0)		73 (22.5)		149 (31.4)		105 (24.1)		140 (28.2)		147 (31.1)		144 (28.9)		835 (27.7)	
50-59歳	54 (17.5)		55 (16.9)		47 (9.9)		69 (15.8)		86 (17.3)		85 (18.0)		82 (16.5)		478 (15.9)	
60歳以上	12 (3.9)		12 (3.7)		24 (5.1)		19 (4.4)		20 (4.0)		14 (3.0)		20 (4.0)		121 (4.0)	
合計	308 (100)		325 (100)		475 (100)		436 (100)		497 (100)		472 (100)		498 (100)		3011 (100)	
自殺（未遂を含む）																
生存	243 (78.9)		259 (79.7)		382 (80.4)		373 (85.6)		398 (80.1)		379 (80.3)		414 (83.1)		2448 (81.3)	
自殺	65 (21.1)		66 (20.3)		93 (19.6)		63 (14.4)		99 (19.9)		93 (19.7)		84 (16.9)		563 (18.7)	
合計	308 (100)		325 (100)		475 (100)		436 (100)		497 (100)		472 (100)		498 (100)		3011 (100)	
死亡時年齢																
[M, SD]	[42.4, 11.6]		[41.6, 13.4]		[41.3, 13.9]		[41.3, 10.6]		[43.1, 12.1]		[41.9, 9.7]		[38.9, 10.6]		[41.5, 11.8]	
19歳以下	0 (0.0)		0 (0.0)		1 (1.1)		0 (0.0)		0 (0.0)		0 (0.0)		1 (1.3)		2 (0.4)	
20-29歳	12 (20.3)		11 (17.7)		19 (21.6)		8 (14.0)		15 (18.1)		12 (13.8)		20 (25.0)		97 (18.8)	
30-39歳	11 (18.6)		21 (33.9)		20 (22.7)		18 (31.6)		18 (21.7)		21 (24.1)		19 (23.8)		128 (24.8)	
40-49歳	21 (35.6)		8 (12.9)		30 (34.1)		17 (29.8)		21 (25.3)		33 (37.9)		25 (31.3)		155 (30.0)	
50-59歳	12 (20.3)		19 (30.6)		11 (12.5)		12 (21.1)		23 (27.7)		19 (21.8)		15 (18.8)		111 (21.5)	
60歳以上	3 (5.1)		3 (4.8)		7 (8.0)		2 (3.5)		6 (7.2)		2 (2.3)		0 (0.0)		23 (4.5)	
合計	59 (100)		62 (100)		88 (100)		57 (100)		83 (100)		87 (100)		80 (100)		516 (100)	

表 2-1-2 請求時・発症時・死亡時年齢（平成 22～28 年度業務上事案、精神障害、男性）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	204		224		345		289		347		326		330		2065	
(年度別%)	(9.9)		(10.8)		(16.7)		(14.0)		(16.8)		(15.8)		(16.0)		(100)	
請求時年齢	[M, SD] [41.5, 11.3] [40.5, 11.5] [41.1, 11.2] [41.1, 11.1] [41.0, 11.1] [42.1, 10.5] [41.4, 11.5] [41.2, 11.1]															
発症時年齢	[M, SD] [40.3, 11.2] [39.4, 11.7] [40.0, 11.2] [40.0, 11.1] [39.9, 11.0] [41.0, 10.5] [40.2, 11.4] [40.1, 11.1]															
19歳以下	1	(0.5)	4	(1.8)	3	(0.9)	5	(1.7)	5	(1.4)	1	(0.3)	6	(1.8)	25	(1.2)
20-29歳	42	(20.6)	44	(19.6)	58	(16.8)	43	(14.9)	66	(19.0)	51	(15.6)	61	(18.5)	365	(17.7)
30-39歳	60	(29.4)	76	(33.9)	109	(31.6)	104	(36.0)	102	(29.4)	95	(29.1)	94	(28.5)	640	(31.0)
40-49歳	56	(27.5)	48	(21.4)	120	(34.8)	78	(27.0)	97	(28.0)	107	(32.8)	97	(29.4)	603	(29.2)
50-59歳	36	(17.6)	43	(19.2)	36	(10.4)	46	(15.9)	63	(18.2)	60	(18.4)	57	(17.3)	341	(16.5)
60歳以上	9	(4.4)	9	(4.0)	19	(5.5)	13	(4.5)	14	(4.0)	12	(3.7)	15	(4.5)	91	(4.4)
合計	204	(100)	224	(100)	345	(100)	289	(100)	347	(100)	326	(100)	330	(100)	2065	(100)
自殺（未遂を含む）																
生存	145	(71.1)	162	(72.3)	257	(74.5)	228	(78.9)	250	(72.0)	238	(73.0)	248	(75.2)	1528	(74.0)
自殺	59	(28.9)	62	(27.7)	88	(25.5)	61	(21.1)	97	(28.0)	88	(27.0)	82	(24.8)	537	(26.0)
合計	204	(100)	224	(100)	345	(100)	289	(100)	347	(100)	326	(100)	330	(100)	2065	(100)
死亡時年齢	[M, SD] [43.5, 11.3] [42.3, 13.6] [41.5, 13.8] [42.0, 10.2] [43.1, 12.1] [41.9, 9.6] [39.1, 10.6] [41.8, 11.7]															
19歳以下	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(1.3)	2	(0.4)
20-29歳	9	(16.7)	11	(19.0)	16	(19.3)	6	(10.9)	15	(18.1)	11	(13.3)	19	(24.1)	87	(17.6)
30-39歳	10	(18.5)	17	(29.3)	20	(24.1)	18	(32.7)	18	(21.7)	20	(24.1)	19	(24.1)	122	(24.6)
40-49歳	20	(37.0)	8	(13.8)	30	(36.1)	17	(30.9)	21	(25.3)	33	(39.8)	25	(31.6)	154	(31.1)
50-59歳	12	(22.2)	19	(32.8)	9	(10.8)	12	(21.8)	23	(27.7)	17	(20.5)	15	(19.0)	107	(21.6)
60歳以上	3	(5.6)	3	(5.2)	7	(8.4)	2	(3.6)	6	(7.2)	2	(2.4)	0	(0.0)	23	(4.6)
合計	54	(100)	58	(100)	83	(100)	55	(100)	83	(100)	83	(100)	79	(100)	495	(100)

表 2-1-3 請求時・発症時・死亡時年齢（平成 22～28 年度業務上事案、精神障害、女性）

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	104		101		130		147		150		146		168		946	
(年度別%)	(11.0)		(10.7)		(13.7)		(15.5)		(15.9)		(15.4)		(17.8)		(100)	
請求時年齢	[M, SD] [37.5, 12.0] [38.2, 11.1] [36.6, 11.7] [38.9, 11.1] [39.0, 12.0] [38.9, 10.9] [39.0, 11.5] [38.4, 11.5]															
発症時年齢	[M, SD] [36.8, 12.1] [37.4, 11.0] [35.9, 11.6] [38.0, 11.1] [38.2, 12.0] [38.2, 10.9] [38.1, 11.4] [37.6, 11.5]															
19歳以下	3	(2.9)	1	(1.0)	1	(0.8)	1	(0.7)	4	(2.7)	1	(0.7)	3	(1.8)	14	(1.5)
20-29歳	32	(30.8)	26	(25.7)	45	(34.6)	32	(21.8)	37	(24.7)	36	(24.7)	46	(27.4)	254	(26.8)
30-39歳	27	(26.0)	34	(33.7)	39	(30.0)	58	(39.5)	37	(24.7)	42	(28.8)	42	(25.0)	279	(29.5)
40-49歳	21	(20.2)	25	(24.8)	29	(22.3)	27	(18.4)	43	(28.7)	40	(27.4)	47	(28.0)	232	(24.5)
50-59歳	18	(17.3)	12	(11.9)	11	(8.5)	23	(15.6)	23	(15.3)	25	(17.1)	25	(14.9)	137	(14.5)
60歳以上	3	(2.9)	3	(3.0)	5	(3.8)	6	(4.1)	6	(4.0)	2	(1.4)	5	(3.0)	30	(3.2)
合計	104	(100)	101	(100)	130	(100)	147	(100)	150	(100)	146	(100)	168	(100)	946	(100)
自殺（未遂を含む）																
生存	98	(94.2)	97	(96.0)	125	(96.2)	145	(98.6)	148	(98.7)	141	(96.6)	166	(98.8)	920	(97.3)
自殺	6	(5.8)	4	(4.0)	5	(3.8)	2	(1.4)	2	(1.3)	5	(3.4)	2	(1.2)	26	(2.7)
合計	104	(100)	101	(100)	130	(100)	147	(100)	150	(100)	146	(100)	168	(100)	946	(100)
死亡時年齢	[M, SD] [29.8, 7.6] [31.8, 1.5] [37.6, 18.0] [23.0, 2.8] [-] [42.0, 12.6] [24.0, -] [33.4, 11.8]															
19歳以下	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(-)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
20-29歳	3	(60.0)	0	(0.0)	3	(60.0)	2	(100)	0	(-)	1	(25.0)	1	(100)	10	(47.6)
30-39歳	1	(20.0)	4	(100)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(-)	1	(25.0)	0	(0.0)	6	(28.6)
40-49歳	1	(20.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(-)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(4.8)
50-59歳	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(40.0)	0	(0.0)	0	(-)	2	(50.0)	0	(0.0)	4	(19.0)
60歳以上	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(-)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	5	(100)	4	(100)	5	(100)	2	(100)	0	(-)	4	(100)	1	(100)	21	(100)

表 2-2-1 決定時疾患名(平成 22~28 年度業務上事案、精神障害、男女)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
F30-F39 : 気分[感情]障害	161	(52.3)	148	(45.5)	234	(49.3)	208	(47.7)	250	(50.3)	233	(49.4)	250	(50.2)	1484	(49.3)
F30 躁病エピソード	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.1)
F31 双極性感情障害	1	(0.3)	1	(0.3)	5	(1.1)	10	(2.3)	10	(2.0)	12	(2.5)	8	(1.6)	47	(1.6)
F32 うつ病エピソード	144	(46.8)	132	(40.6)	197	(41.5)	175	(40.1)	211	(42.5)	199	(42.2)	226	(45.4)	1284	(42.6)
F33 反復性うつ病性障害	4	(1.3)	3	(0.9)	10	(2.1)	9	(2.1)	4	(0.8)	5	(1.1)	6	(1.2)	41	(1.4)
F34 持続性気分(感情)障害	2	(0.6)	0	(0.0)	4	(0.8)	2	(0.5)	1	(0.2)	1	(0.2)	1	(0.2)	11	(0.4)
F38 その他の気分(感情)障害	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	2	(0.1)
F39 詳細不明の気分(感情)障害	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
F3 下位分類不明	9	(2.9)	11	(3.4)	17	(3.6)	12	(2.8)	23	(4.6)	15	(3.2)	9	(1.8)	96	(3.2)
F40-F48 : 神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害	145	(47.1)	174	(53.5)	239	(50.3)	225	(51.6)	245	(49.3)	235	(49.8)	245	(49.2)	1508	(50.1)
F40 恐怖症性不安障害	4	(1.3)	3	(0.9)	3	(0.6)	1	(0.2)	5	(1.0)	2	(0.4)	1	(0.2)	19	(0.6)
F41 その他の不安障害	6	(1.9)	4	(1.2)	14	(2.9)	12	(2.8)	17	(3.4)	17	(3.6)	14	(2.8)	84	(2.8)
F42 強迫性障害	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
F43.0 急性ストレス反応	17	(5.5)	25	(7.7)	22	(4.6)	21	(4.8)	21	(4.2)	16	(3.4)	19	(3.8)	141	(4.7)
F43.1 心的外傷後ストレス障害	51	(16.6)	54	(16.6)	65	(13.7)	70	(16.1)	73	(14.7)	55	(11.7)	54	(10.8)	422	(14.0)
F43.2 適応障害	45	(14.6)	61	(18.8)	80	(16.8)	79	(18.1)	96	(19.3)	104	(22.0)	119	(23.9)	584	(19.4)
F43.8 その他の重度ストレス反応	0	(0.0)	1	(0.3)	4	(0.8)	1	(0.2)	2	(0.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	8	(0.3)
F43.9 重度ストレス反応、詳細不明	1	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.4)	1	(0.2)	1	(0.2)	1	(0.2)	0	(0.0)	6	(0.2)
F43以下の下位分類不明	13	(4.2)	8	(2.5)	16	(3.4)	14	(3.2)	9	(1.8)	16	(3.4)	19	(3.8)	95	(3.2)
F44 解離性(転換性)障害	0	(0.0)	2	(0.6)	8	(1.7)	4	(0.9)	6	(1.2)	4	(0.8)	5	(1.0)	29	(1.0)
F45 身体表現性障害	2	(0.6)	4	(1.2)	6	(1.3)	6	(1.4)	4	(0.8)	8	(1.7)	6	(1.2)	36	(1.2)
F48 その他の神経症性障害	1	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.4)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	5	(0.2)
F4 下位分類不明	5	(1.6)	12	(3.7)	17	(3.6)	14	(3.2)	11	(2.2)	11	(2.3)	8	(1.6)	78	(2.6)
F2 : 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2	(0.6)	2	(0.6)	2	(0.4)	3	(0.7)	2	(0.4)	4	(0.8)	2	(0.4)	17	(0.6)
その他の疾患	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	2	(0.1)
合計	308	(100)	325	(100)	475	(100)	436	(100)	497	(100)	472	(100)	498	(100)	3011	(100)

表 2-2-2 決定時疾患名(平成 22~28 年度業務上事案、精神障害、男性)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
F30-F39 : 気分[感情]障害	131	(64.2)	128	(57.1)	199	(57.7)	161	(55.7)	211	(60.8)	188	(57.7)	195	(59.1)	1213	(58.7)
F30 躁病エピソード	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.1)
F31 双極性感情障害	1	(0.5)	1	(0.4)	4	(1.2)	8	(2.8)	9	(2.6)	10	(3.1)	8	(2.4)	41	(2.0)
F32 うつ病エピソード	116	(56.9)	112	(50.0)	169	(49.0)	136	(47.1)	179	(51.6)	157	(48.2)	174	(52.7)	1043	(50.5)
F33 反復性うつ病性障害	3	(1.5)	3	(1.3)	8	(2.3)	9	(3.1)	4	(1.2)	5	(1.5)	6	(1.8)	38	(1.8)
F34 持続性気分(感情)障害	2	(1.0)	0	(0.0)	4	(1.2)	1	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)	0	(0.0)	9	(0.4)
F38 その他の気分(感情)障害	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	2	(0.1)
F39 詳細不明の気分(感情)障害	0	(0.0)	1	(0.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
F3 下位分類不明	8	(3.9)	11	(4.9)	13	(3.8)	7	(2.4)	17	(4.9)	14	(4.3)	7	(2.1)	77	(3.7)
F40-F48 : 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害	71	(34.8)	93	(41.5)	144	(41.7)	125	(43.3)	134	(38.6)	134	(41.1)	133	(40.3)	834	(40.4)
F40 恐怖症性不安障害	3	(1.5)	2	(0.9)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)	9	(0.4)
F41 その他の不安障害	2	(1.0)	2	(0.9)	9	(2.6)	7	(2.4)	9	(2.6)	8	(2.5)	9	(2.7)	46	(2.2)
F42 強迫性障害	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
F43.0 急性ストレス反応	8	(3.9)	11	(4.9)	7	(2.0)	8	(2.8)	6	(1.7)	5	(1.5)	4	(1.2)	49	(2.4)
F43.1 心的外傷後ストレス障害	15	(7.4)	26	(11.6)	37	(10.7)	38	(13.1)	37	(10.7)	27	(8.3)	29	(8.8)	209	(10.1)
F43.2 適応障害	27	(13.2)	38	(17.0)	62	(18.0)	49	(17.0)	57	(16.4)	64	(19.6)	69	(20.9)	366	(17.7)
F43.8 その他の重度ストレス反応	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.1)
F43.9 重度ストレス反応、詳細不明	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.3)	0	(0.0)	3	(0.1)
F43以下の下位分類不明	10	(4.9)	4	(1.8)	8	(2.3)	6	(2.1)	5	(1.4)	9	(2.8)	10	(3.0)	52	(2.5)
F44 解離性(転換性)障害	0	(0.0)	1	(0.4)	5	(1.4)	2	(0.7)	6	(1.7)	3	(0.9)	3	(0.9)	20	(1.0)
F45 身体表現性障害	2	(1.0)	4	(1.8)	4	(1.2)	4	(1.4)	4	(1.2)	8	(2.5)	4	(1.2)	30	(1.5)
F48 その他の神経症性障害	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.1)
F4 下位分類不明	2	(1.0)	5	(2.2)	10	(2.9)	8	(2.8)	7	(2.0)	8	(2.5)	4	(1.2)	44	(2.1)
F2 : 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	2	(1.0)	2	(0.9)	2	(0.6)	3	(1.0)	2	(0.6)	4	(1.2)	2	(0.6)	17	(0.8)
その他の疾患	0	(0.0)	1	(0.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
合計	204	(100)	224	(100)	345	(100)	289	(100)	347	(100)	326	(100)	330	(100)	2065	(100)

表 2-2-3 決定時疾患名(平成 22~28 年度業務上事案、精神障害、女性)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
F30-F39 : 気分[感情]障害																
	30	(28.8)	20	(19.8)	35	(26.9)	47	(32.0)	39	(26.0)	45	(30.8)	55	(32.7)	271	(28.6)
F30 躁病エピソード	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
F31 双極性感情障害	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.8)	2	(1.4)	1	(0.7)	2	(1.4)	0	(0.0)	6	(0.6)
F32 うつ病エピソード	28	(26.9)	20	(19.8)	28	(21.5)	39	(26.5)	32	(21.3)	42	(28.8)	52	(31.0)	241	(25.5)
F33 反復性うつ病性障害	1	(1.0)	0	(0.0)	2	(1.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.3)
F34 持続性気分(感情)障害	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	2	(0.2)
F38 その他の気分(感情)障害	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
F39 詳細不明の気分(感情)障害	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
F3 下位分類不明	1	(1.0)	0	(0.0)	4	(3.1)	5	(3.4)	6	(4.0)	1	(0.7)	2	(1.2)	19	(2.0)
F40-F48 : 神経症性障害, ストレス関連障害及び身体表現性障害																
	74	(71.2)	81	(80.2)	95	(73.1)	100	(68.0)	111	(74.0)	101	(69.2)	112	(66.7)	674	(71.2)
F40 恐怖症性不安障害	1	(1.0)	1	(1.0)	3	(2.3)	0	(0.0)	4	(2.7)	1	(0.7)	0	(0.0)	10	(1.1)
F41 その他の不安障害	4	(3.8)	2	(2.0)	5	(3.8)	5	(3.4)	8	(5.3)	9	(6.2)	5	(3.0)	38	(4.0)
F42 強迫性障害	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
F43.0 急性ストレス反応	9	(8.7)	14	(13.9)	15	(11.5)	13	(8.8)	15	(10.0)	11	(7.5)	15	(8.9)	92	(9.7)
F43.1 心的外傷後ストレス障害	36	(34.6)	28	(27.7)	28	(21.5)	32	(21.8)	36	(24.0)	28	(19.2)	25	(14.9)	213	(22.5)
F43.2 適応障害	18	(17.3)	23	(22.8)	18	(13.8)	30	(20.4)	39	(26.0)	40	(27.4)	50	(29.8)	218	(23.0)
F43.8 その他の重度ストレス反応	0	(0.0)	1	(1.0)	3	(2.3)	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(0.5)
F43.9 重度ストレス反応、詳細不明	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.5)	1	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.3)
F43以下の下位分類不明	3	(2.9)	4	(4.0)	8	(6.2)	8	(5.4)	4	(2.7)	7	(4.8)	9	(5.4)	43	(4.5)
F44 解離性(転換性)障害	0	(0.0)	1	(1.0)	3	(2.3)	2	(1.4)	0	(0.0)	1	(0.7)	2	(1.2)	9	(1.0)
F45 身体表現性障害	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.5)	2	(1.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.2)	6	(0.6)
F48 その他の神経症性障害	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.8)	1	(0.7)	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	3	(0.3)
F4 下位分類不明	3	(2.9)	7	(6.9)	7	(5.4)	6	(4.1)	4	(2.7)	3	(2.1)	4	(2.4)	34	(3.6)
F2 : 統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害																
	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
その他の疾患																
	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	1	(0.1)
合計	104	(100)	101	(100)	130	(100)	147	(100)	150	(100)	146	(100)	168	(100)	946	(100)

表 2-3-1 業種(大分類)、職種(大分類)(業務上外、精神事案、男女)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
業種(大分類)																
製造業	50	(16.2)	59	(18.2)	93	(19.6)	78	(17.9)	81	(16.3)	71	(15.0)	91	(18.3)	523	(17.4)
卸売業・小売業	46	(14.9)	41	(12.6)	66	(13.9)	65	(14.9)	71	(14.3)	65	(13.8)	57	(11.4)	411	(13.6)
医療、福祉	41	(13.3)	39	(12.0)	52	(10.9)	54	(12.4)	60	(12.1)	47	(10.0)	80	(16.1)	373	(12.4)
運輸業、郵便業	33	(10.7)	27	(8.3)	52	(10.9)	45	(10.3)	63	(12.7)	57	(12.1)	45	(9.0)	322	(10.7)
建設業	20	(6.5)	35	(10.8)	22	(4.6)	34	(7.8)	37	(7.4)	36	(7.6)	54	(10.8)	238	(7.9)
サービス業(他に分類されないもの)	19	(6.2)	20	(6.2)	42	(8.8)	40	(9.2)	30	(6.0)	36	(7.6)	28	(5.6)	215	(7.1)
宿泊業、飲食サービス業	22	(7.1)	25	(7.7)	30	(6.3)	24	(5.5)	38	(7.6)	29	(6.1)	33	(6.6)	201	(6.7)
情報通信業	22	(7.1)	13	(4.0)	35	(7.4)	22	(5.0)	32	(6.4)	30	(6.4)	27	(5.4)	181	(6.0)
学術研究、専門・技術サービス業	17	(5.5)	14	(4.3)	19	(4.0)	19	(4.4)	27	(5.4)	28	(5.9)	17	(3.4)	141	(4.7)
教育、学習支援業	11	(3.6)	11	(3.4)	13	(2.7)	13	(3.0)	10	(2.0)	19	(4.0)	10	(2.0)	87	(2.9)
金融業・保険業	8	(2.6)	8	(2.5)	12	(2.5)	15	(3.4)	7	(1.4)	14	(3.0)	11	(2.2)	75	(2.5)
不動産業、物品賃貸業	8	(2.6)	9	(2.8)	16	(3.4)	7	(1.6)	14	(2.8)	12	(2.5)	16	(3.2)	82	(2.7)
生活関連サービス業、娯楽業	7	(2.3)	10	(3.1)	10	(2.1)	6	(1.4)	16	(3.2)	14	(3.0)	11	(2.2)	74	(2.5)
農業、林業	1	(0.3)	4	(1.2)	5	(1.1)	4	(0.9)	4	(0.8)	2	(0.4)	4	(0.8)	24	(0.8)
複合サービス事業	2	(0.6)	4	(1.2)	5	(1.1)	4	(0.9)	2	(0.4)	2	(0.4)	6	(1.2)	25	(0.8)
電気・ガス・熱供給・水道業	1	(0.3)	5	(1.5)	1	(0.2)	3	(0.7)	1	(0.2)	3	(0.6)	4	(0.8)	18	(0.6)
漁業	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.2)	2	(0.5)	2	(0.4)	3	(0.6)	1	(0.2)	10	(0.3)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.2)	0	(0.0)	1	(0.2)	2	(0.4)	5	(0.2)
公務(他に分類されるものを除く)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.4)	3	(0.6)	1	(0.2)	6	(0.2)
合計	308	(100)	325	(100)	475	(100)	436	(100)	497	(100)	472	(100)	498	(100)	3011	(100)
職種(大分類)																
専門的・技術的職業従事者	73	(23.7)	78	(24.0)	117	(24.6)	104	(23.9)	110	(22.1)	114	(24.2)	115	(23.1)	711	(23.6)
事務従事者	61	(19.8)	59	(18.2)	101	(21.3)	87	(20.0)	99	(19.9)	93	(19.7)	81	(16.3)	581	(19.3)
販売従事者	44	(14.3)	40	(12.3)	54	(11.4)	42	(9.6)	53	(10.7)	48	(10.2)	63	(12.7)	344	(11.4)
サービス職業従事者	35	(11.4)	38	(11.7)	57	(12.0)	50	(11.5)	63	(12.7)	53	(11.2)	64	(12.9)	360	(12.0)
生産工程従事者	22	(7.1)	35	(10.8)	56	(11.8)	56	(12.8)	51	(10.3)	36	(7.6)	52	(10.4)	308	(10.2)
管理的職業従事者	29	(9.4)	21	(6.5)	26	(5.5)	18	(4.1)	49	(9.9)	44	(9.3)	30	(6.0)	217	(7.2)
輸送・機械運転従事者	23	(7.5)	18	(5.5)	33	(6.9)	30	(6.9)	31	(6.2)	37	(7.8)	32	(6.4)	204	(6.8)
建設・採掘従事者	9	(2.9)	17	(5.2)	11	(2.3)	24	(5.5)	18	(3.6)	18	(3.8)	27	(5.4)	124	(4.1)
運搬・清掃・包装等従事者	8	(2.6)	12	(3.7)	15	(3.2)	10	(2.3)	17	(3.4)	19	(4.0)	23	(4.6)	104	(3.5)
農林漁業従事者	1	(0.3)	4	(1.2)	3	(0.6)	7	(1.6)	5	(1.0)	4	(0.8)	5	(1.0)	29	(1.0)
保安職業従事者	1	(0.3)	3	(0.9)	2	(0.4)	8	(1.8)	1	(0.2)	6	(1.3)	6	(1.2)	27	(0.9)
運輸・通信従事者	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
分類不能の職業	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
合計	308	(100)	325	(100)	475	(100)	436	(100)	497	(100)	472	(100)	498	(100)	3011	(100)

表 2-3-2 業種(大分類)、職種(大分類)(業務上外、精神事案、男性)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
業種(大分類)																
製造業	41	(20.1)	53	(23.7)	81	(23.5)	63	(21.8)	64	(18.4)	53	(16.3)	71	(21.5)	426	(20.6)
卸売業・小売業	23	(11.3)	29	(12.9)	46	(13.3)	44	(15.2)	54	(15.6)	39	(12.0)	34	(10.3)	269	(13.0)
医療、福祉	11	(5.4)	7	(3.1)	14	(4.1)	4	(1.4)	16	(4.6)	17	(5.2)	22	(6.7)	91	(4.4)
運輸業、郵便業	30	(14.7)	21	(9.4)	43	(12.5)	39	(13.5)	50	(14.4)	46	(14.1)	38	(11.5)	267	(12.9)
建設業	16	(7.8)	34	(15.2)	21	(6.1)	32	(11.1)	34	(9.8)	34	(10.4)	52	(15.8)	223	(10.8)
サービス業(他に分類されないもの)	12	(5.9)	13	(5.8)	31	(9.0)	30	(10.4)	20	(5.8)	25	(7.7)	20	(6.1)	151	(7.3)
宿泊業、飲食サービス業	18	(8.8)	14	(6.3)	21	(6.1)	15	(5.2)	25	(7.2)	18	(5.5)	21	(6.4)	132	(6.4)
情報通信業	17	(8.3)	10	(4.5)	29	(8.4)	14	(4.8)	27	(7.8)	25	(7.7)	19	(5.8)	141	(6.8)
学術研究、専門・技術サービス業	13	(6.4)	8	(3.6)	14	(4.1)	14	(4.8)	23	(6.6)	23	(7.1)	13	(3.9)	108	(5.2)
教育、学習支援業	6	(2.9)	7	(3.1)	7	(2.0)	5	(1.7)	6	(1.7)	8	(2.5)	4	(1.2)	43	(2.1)
金融業・保険業	3	(1.5)	2	(0.9)	7	(2.0)	8	(2.8)	4	(1.2)	6	(1.8)	6	(1.8)	36	(1.7)
不動産業、物品賃貸業	7	(3.4)	5	(2.2)	13	(3.8)	5	(1.7)	9	(2.6)	10	(3.1)	9	(2.7)	58	(2.8)
生活関連サービス業、娯楽業	4	(2.0)	8	(3.6)	8	(2.3)	4	(1.4)	7	(2.0)	12	(3.7)	7	(2.1)	50	(2.4)
農業、林業	1	(0.5)	4	(1.8)	4	(1.2)	4	(1.4)	3	(0.9)	2	(0.6)	3	(0.9)	21	(1.0)
複合サービス事業	1	(0.5)	3	(1.3)	4	(1.2)	2	(0.7)	1	(0.3)	1	(0.3)	5	(1.5)	17	(0.8)
電気・ガス・熱供給・水道業	1	(0.5)	5	(2.2)	0	(0.0)	3	(1.0)	1	(0.3)	3	(0.9)	3	(0.9)	16	(0.8)
漁業	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.3)	2	(0.7)	2	(0.6)	3	(0.9)	1	(0.3)	10	(0.5)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.3)	2	(0.6)	5	(0.2)
公務(他に分類されるものを除く)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
合計	204	(100)	224	(100)	345	(100)	289	(100)	347	(100)	326	(100)	330	(100)	2065	(100)
職種(大分類)																
専門的・技術的職業従事者	46	(22.5)	47	(21.0)	79	(22.9)	59	(20.4)	70	(20.2)	79	(24.2)	73	(22.1)	453	(21.9)
事務従事者	31	(15.2)	32	(14.3)	61	(17.7)	49	(17.0)	58	(16.7)	49	(15.0)	37	(11.2)	317	(15.4)
販売従事者	22	(10.8)	26	(11.6)	37	(10.7)	24	(8.3)	38	(11.0)	28	(8.6)	41	(12.4)	216	(10.5)
サービス職業従事者	22	(10.8)	22	(9.8)	36	(10.4)	21	(7.3)	32	(9.2)	29	(8.9)	32	(9.7)	194	(9.4)
生産工程従事者	17	(8.3)	31	(13.8)	51	(14.8)	50	(17.3)	42	(12.1)	27	(8.3)	45	(13.6)	263	(12.7)
管理的職業従事者	27	(13.2)	19	(8.5)	24	(7.0)	15	(5.2)	45	(13.0)	40	(12.3)	22	(6.7)	192	(9.3)
輸送・機械運転従事者	20	(9.8)	13	(5.8)	30	(8.7)	28	(9.7)	28	(8.1)	34	(10.4)	30	(9.1)	183	(8.9)
建設・採掘従事者	9	(4.4)	17	(7.6)	11	(3.2)	24	(8.3)	17	(4.9)	18	(5.5)	26	(7.9)	122	(5.9)
運搬・清掃・包装等従事者	7	(3.4)	10	(4.5)	11	(3.2)	6	(2.1)	12	(3.5)	14	(4.3)	15	(4.5)	75	(3.6)
農林漁業従事者	1	(0.5)	4	(1.8)	3	(0.9)	7	(2.4)	4	(1.2)	3	(0.9)	3	(0.9)	25	(1.2)
保安職業従事者	1	(0.5)	3	(1.3)	2	(0.6)	6	(2.1)	1	(0.3)	5	(1.5)	6	(1.8)	24	(1.2)
運輸・通信従事者	1	(0.5)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.0)
分類不能の職業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
合計	204	(100)	224	(100)	345	(100)	289	(100)	347	(100)	326	(100)	330	(100)	2065	(100)

表 2-3-3 業種(大分類)、職種(大分類)(業務上外、精神事案、女性)

	平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
業種(大分類)																
製造業	9	(8.7)	6	(5.9)	12	(9.2)	15	(10.2)	17	(11.3)	18	(12.3)	20	(11.9)	97	(10.3)
卸売業・小売業	23	(22.1)	12	(11.9)	20	(15.4)	21	(14.3)	17	(11.3)	26	(17.8)	23	(13.7)	142	(15.0)
医療、福祉	30	(28.8)	32	(31.7)	38	(29.2)	50	(34.0)	44	(29.3)	30	(20.5)	58	(34.5)	282	(29.8)
運輸業、郵便業	3	(2.9)	6	(5.9)	9	(6.9)	6	(4.1)	13	(8.7)	11	(7.5)	7	(4.2)	55	(5.8)
建設業	4	(3.8)	1	(1.0)	1	(0.8)	2	(1.4)	3	(2.0)	2	(1.4)	2	(1.2)	15	(1.6)
サービス業(他に分類されないもの)	7	(6.7)	7	(6.9)	11	(8.5)	10	(6.8)	10	(6.7)	11	(7.5)	8	(4.8)	64	(6.8)
宿泊業、飲食サービス業	4	(3.8)	11	(10.9)	9	(6.9)	9	(6.1)	13	(8.7)	11	(7.5)	12	(7.1)	69	(7.3)
情報通信業	5	(4.8)	3	(3.0)	6	(4.6)	8	(5.4)	5	(3.3)	5	(3.4)	8	(4.8)	40	(4.2)
学術研究、専門・技術サービス業	4	(3.8)	6	(5.9)	5	(3.8)	5	(3.4)	4	(2.7)	5	(3.4)	4	(2.4)	33	(3.5)
教育、学習支援業	5	(4.8)	4	(4.0)	6	(4.6)	8	(5.4)	4	(2.7)	11	(7.5)	6	(3.6)	44	(4.7)
金融業・保険業	5	(4.8)	6	(5.9)	5	(3.8)	7	(4.8)	3	(2.0)	8	(5.5)	5	(3.0)	39	(4.1)
不動産業、物品賃貸業	1	(1.0)	4	(4.0)	3	(2.3)	2	(1.4)	5	(3.3)	2	(1.4)	7	(4.2)	24	(2.5)
生活関連サービス業、娯楽業	3	(2.9)	2	(2.0)	2	(1.5)	2	(1.4)	9	(6.0)	2	(1.4)	4	(2.4)	24	(2.5)
農業、林業	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.8)	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	1	(0.6)	3	(0.3)
複合サービス事業	1	(1.0)	1	(1.0)	1	(0.8)	2	(1.4)	1	(0.7)	1	(0.7)	1	(0.6)	8	(0.8)
電気・ガス・熱供給・水道業	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	2	(0.2)
漁業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
鉱業、採石業、砂利採取業	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
公務(他に分類されるものを除く)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.7)	3	(2.1)	1	(0.6)	5	(0.5)
合計	104	(100)	101	(100)	130	(100)	147	(100)	150	(100)	146	(100)	168	(100)	946	(100)
職種(大分類)																
専門的・技術的職業従事者	27	(26.0)	31	(30.7)	38	(29.2)	45	(30.6)	40	(26.7)	35	(24.0)	42	(25.0)	258	(27.3)
事務従事者	30	(28.8)	27	(26.7)	40	(30.8)	38	(25.9)	41	(27.3)	44	(30.1)	44	(26.2)	264	(27.9)
販売従事者	22	(21.2)	14	(13.9)	17	(13.1)	18	(12.2)	15	(10.0)	20	(13.7)	22	(13.1)	128	(13.5)
サービス職業従事者	13	(12.5)	16	(15.8)	21	(16.2)	29	(19.7)	31	(20.7)	24	(16.4)	32	(19.0)	166	(17.5)
生産工程従事者	5	(4.8)	4	(4.0)	5	(3.8)	6	(4.1)	9	(6.0)	9	(6.2)	7	(4.2)	45	(4.8)
管理的職業従事者	2	(1.9)	2	(2.0)	2	(1.5)	3	(2.0)	4	(2.7)	4	(2.7)	8	(4.8)	25	(2.6)
輸送・機械運転従事者	3	(2.9)	5	(5.0)	3	(2.3)	2	(1.4)	3	(2.0)	3	(2.1)	2	(1.2)	21	(2.2)
建設・採掘従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	1	(0.6)	2	(0.2)
運搬・清掃・包装等従事者	1	(1.0)	2	(2.0)	4	(3.1)	4	(2.7)	5	(3.3)	5	(3.4)	8	(4.8)	29	(3.1)
農林漁業従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.7)	2	(1.2)	4	(0.4)
保安職業従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.4)	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	3	(0.3)
運輸・通信従事者	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
分類不能の職業	1	(1.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)
合計	104	(100)	101	(100)	130	(100)	147	(100)	150	(100)	146	(100)	168	(100)	946	(100)

表 2-4-1 出来事(旧基準*1) (平成 22~23 年度業務上事案、精神障害、男女)

	平成22年度		平成23年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	308		284		592	
(年度別%)	(52.0)		(48.0)		(100)	
恒常的な長時間労働						
出来事前	83	(26.9)	57	(20.1)	140	(23.6)
出来事後	103	(33.4)	91	(32.0)	194	(32.8)
特別な出来事の評価						
イ 生死に関わる事故への遭遇等心理的負荷が極度のもの	59	(19.2)	61	(21.5)	120	(20.3)
ロ おおむね6か月を超える期間にわたって療養中の者に発病した精神障害については、症状が急変し、極度の苦痛を伴ったもの	2	(0.6)	2	(0.7)	4	(0.7)
ハ 極度の長時間労働	27	(8.8)	18	(6.3)	45	(7.6)
具体的出来事						
1. 重度の病気やケガをした	24	(7.8)	22	(7.7)	46	(7.8)
2. 悲惨な事故や災害の体験(目撃)をした	45	(14.6)	52	(18.3)	97	(16.4)
3. 交通事故(重大な人身事故、重大事故)を起こした	4	(1.3)	3	(1.1)	7	(1.2)
4. 労働災害(重大な人身事故、重大事故)の発生に直接関与した	1	(0.3)	1	(0.4)	2	(0.3)
5. 会社の経営に影響するなどの重大な仕事上のミスをした	5	(1.6)	2	(0.7)	7	(1.2)
6. 会社で起きた事故(事件)について、責任を問われた	7	(2.3)	2	(0.7)	9	(1.5)
7. 違法行為を強要された	3	(1.0)	0	(0.0)	3	(0.5)
8. 自分の関係する仕事で多額の損失を出した	4	(1.3)	2	(0.7)	6	(1.0)
9. 達成困難なノルマが課された	8	(2.6)	5	(1.8)	13	(2.2)
10. ノルマが達成できなかった	7	(2.3)	9	(3.2)	16	(2.7)
11. 新規事業の担当になった、会社の立て直しの担当になった	8	(2.6)	9	(3.2)	17	(2.9)
12. 顧客や取引先から無理な注文を受けた	4	(1.3)	3	(1.1)	7	(1.2)
13. 顧客や取引先からクレームを受けた	18	(5.8)	14	(4.9)	32	(5.4)
14. 研修、会議等の参加を強要された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
15. 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.2)
16. 上司が不在になることにより、その代行を任された	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.2)
17. 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	47	(15.3)	49	(17.3)	96	(16.2)
18. 勤務・拘束時間が長時間化する出来事が生じた	27	(8.8)	19	(6.7)	46	(7.8)
19. 勤務形態に変化があった	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)
20. 仕事のペース、活動の変化があった	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.2)
21. 職場のOA化が進んだ	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)
22. 退職を強要された	11	(3.6)	5	(1.8)	16	(2.7)
23. 出向した	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)
24. 左遷された	3	(1.0)	1	(0.4)	4	(0.7)
25. 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	2	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.3)
26. 早期退職制度の対象となった	2	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.3)
27. 転職をした	12	(3.9)	11	(3.9)	23	(3.9)
28. 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	13	(4.2)	4	(1.4)	17	(2.9)
29. 配置転換があった	7	(2.3)	19	(6.7)	26	(4.4)
30. 自分の昇格・昇進があった	9	(2.9)	3	(1.1)	12	(2.0)
31. 部下が減った	3	(1.0)	5	(1.8)	8	(1.4)
32. 部下が増えた	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.2)
33. 同一事業場内での所属部署が統廃合された	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.2)
34. 担当ではない業務として非正規社員のマネージメント、教育を行った	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
35. (ひどい)嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	31	(10.1)	34	(12.0)	65	(11.0)
36. セクシャルハラスメントを受けた	9	(2.9)	6	(2.1)	15	(2.5)
37. 上司とのトラブルがあった	46	(14.9)	27	(9.5)	73	(12.3)
38. 部下とのトラブルがあった	4	(1.3)	2	(0.7)	6	(1.0)
39. 同僚とのトラブルがあった	4	(1.3)	1	(0.4)	5	(0.8)
40. 理解してくれていた人の異動があった	1	(0.3)	1	(0.4)	2	(0.3)
41. 上司が替わった	3	(1.0)	1	(0.4)	4	(0.7)
42. 昇進で先を越された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
43. 同僚の昇進・昇格があった	0	(0.0)	1	(0.4)	1	(0.2)

*1 旧基準:「心理的負荷による精神障害等に係る業務上外の判断指針」(平成 11 年 9 月)に基づく分類

表 2-4-2 出来事(旧基準*1) (平成 22~23 年度業務上事案、精神障害、男性)

	平成22年度		平成23年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	204		195		399	
(年度別%)	(51.1)		(48.9)		(100)	
恒常的な長時間労働						
出来事前	75	(36.8)	50	(25.6)	125	(31.3)
出来事後	90	(44.1)	79	(40.5)	169	(42.4)
特別な出来事の評価						
イ 生死に関わる事故への遭遇等心理的負荷が極度のもの	27	(13.2)	32	(16.4)	59	(14.8)
ロ おおむね6か月を超える期間にわたって療養中の者に発病した精神障害については、症状が急変し、極度の苦痛を伴ったもの	1	(0.5)	2	(1.0)	3	(0.8)
ハ 極度の長時間労働	25	(12.3)	14	(7.2)	39	(9.8)
具体的出来事						
1. 重度の病気やケガをした	17	(8.3)	20	(10.3)	37	(9.3)
2. 悲惨な事故や災害の体験(目撃)をした	15	(7.4)	21	(10.8)	36	(9.0)
3. 交通事故(重大な人身事故、重大事故)を起こした	4	(2.0)	2	(1.0)	6	(1.5)
4. 労働災害(重大な人身事故、重大事故)の発生に直接関与した	1	(0.5)	1	(0.5)	2	(0.5)
5. 会社の経営に影響するなどの重大な仕事上のミスをした	5	(2.5)	2	(1.0)	7	(1.8)
6. 会社で起きた事故(事件)について、責任を問われた	6	(2.9)	1	(0.5)	7	(1.8)
7. 違法行為を強要された	3	(1.5)	0	(0.0)	3	(0.8)
8. 自分の関係する仕事で多額の損失を出した	3	(1.5)	1	(0.5)	4	(1.0)
9. 達成困難なノルマが課された	7	(3.4)	3	(1.5)	10	(2.5)
10. ノルマが達成できなかった	7	(3.4)	9	(4.6)	16	(4.0)
11. 新規事業の担当になった、会社の立て直しの担当になった	7	(3.4)	8	(4.1)	15	(3.8)
12. 顧客や取引先から無理な注文を受けた	4	(2.0)	3	(1.5)	7	(1.8)
13. 顧客や取引先からクレームを受けた	15	(7.4)	7	(3.6)	22	(5.5)
14. 研修、会議等の参加を強要された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
15. 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.3)
16. 上司が不在になることにより、その代行を任された	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.3)
17. 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	39	(19.1)	39	(20.0)	78	(19.5)
18. 勤務・拘束時間が長時間化する出来事が生じた	23	(11.3)	16	(8.2)	39	(9.8)
19. 勤務形態に変化があった	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.3)
20. 仕事のペース、活動の変化があった	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.3)
21. 職場のOA化が進んだ	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
22. 退職を強要された	7	(3.4)	3	(1.5)	10	(2.5)
23. 出向した	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.3)
24. 左遷された	3	(1.5)	1	(0.5)	4	(1.0)
25. 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	2	(1.0)	0	(0.0)	2	(0.5)
26. 早期退職制度の対象となった	2	(1.0)	0	(0.0)	2	(0.5)
27. 転勤をした	8	(3.9)	11	(5.6)	19	(4.8)
28. 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	12	(5.9)	4	(2.1)	16	(4.0)
29. 配置転換があった	6	(2.9)	15	(7.7)	21	(5.3)
30. 自分の昇格・昇進があった	7	(3.4)	3	(1.5)	10	(2.5)
31. 部下が減った	1	(0.5)	4	(2.1)	5	(1.3)
32. 部下が増えた	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.3)
33. 同一事業場内での所属部署が統廃合された	1	(0.5)	0	(0.0)	1	(0.3)
34. 担当ではない業務として非正規社員のマネージメント、教育を行った	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
35. (ひどい)嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	14	(6.9)	23	(11.8)	37	(9.3)
36. セクシャルハラスメントを受けた	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
37. 上司とのトラブルがあった	32	(15.7)	21	(10.8)	53	(13.3)
38. 部下とのトラブルがあった	4	(2.0)	2	(1.0)	6	(1.5)
39. 同僚とのトラブルがあった	2	(1.0)	1	(0.5)	3	(0.8)
40. 理解してくれていた人の異動があった	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.3)
41. 上司が替わった	2	(1.0)	1	(0.5)	3	(0.8)
42. 昇進で先を越された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
43. 同僚の昇進・昇格があった	0	(0.0)	1	(0.5)	1	(0.3)

*1 旧基準:「心理的負荷による精神障害等に係る業務上外の判断指針」(平成 11 年 9 月)に基づく分類

表 2-4-3 出来事(旧基準*1) (平成 22~23 年度業務上事案、精神障害、女性)

	平成22年度		平成23年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	104		89		193	
(年度別%)	(53.9)		(46.1)		(100)	
恒常的な長時間労働						
出来事前	8	(7.7)	7	(7.9)	15	(7.8)
出来事後	13	(12.5)	12	(13.5)	25	(13.0)
特別な出来事の評価						
イ 生死に関わる事故への遭遇等心理的負荷が極度のもの	32	(30.8)	29	(32.6)	61	(31.6)
ロ おおむね6か月を超える期間にわたって療養中の者に発病した精神障害については、症状が急変し、極度の苦痛を伴ったもの	1	(1.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
ハ 極度の長時間労働	2	(1.9)	4	(4.5)	6	(3.1)
具体的出来事						
1. 重度の病気やケガをした	7	(6.7)	2	(2.2)	9	(4.7)
2. 悲惨な事故や災害の体験(目撃)をした	30	(28.8)	31	(34.8)	61	(31.6)
3. 交通事故(重大な人身事故、重大事故)を起こした	0	(0.0)	1	(1.1)	1	(0.5)
4. 労働災害(重大な人身事故、重大事故)の発生に直接関与した	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
5. 会社の経営に影響するなどの重大な仕事上のミスをした	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
6. 会社で起きた事故(事件)について、責任を問われた	1	(1.0)	1	(1.1)	2	(1.0)
7. 違法行為を強要された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
8. 自分の関係する仕事で多額の損失を出した	1	(1.0)	1	(1.1)	2	(1.0)
9. 達成困難なノルマが課された	1	(1.0)	2	(2.2)	3	(1.6)
10. ノルマが達成できなかった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
11. 新規事業の担当になった、会社の立て直しの担当になった	1	(1.0)	1	(1.1)	2	(1.0)
12. 顧客や取引先から無理な注文を受けた	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
13. 顧客や取引先からクレームを受けた	3	(2.9)	7	(7.9)	10	(5.2)
14. 研修、会議等の参加を強要された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
15. 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
16. 上司が不在になることにより、その代行を任された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
17. 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	8	(7.7)	10	(11.2)	18	(9.3)
18. 勤務・拘束時間が長時間化する出来事が生じた	4	(3.8)	3	(3.4)	7	(3.6)
19. 勤務形態に変化があった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
20. 仕事のペース、活動の変化があった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
21. 職場のOA化が進んだ	1	(1.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
22. 退職を強要された	4	(3.8)	2	(2.2)	6	(3.1)
23. 出向した	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
24. 左遷された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
25. 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
26. 早期退職制度の対象となった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
27. 転勤をした	4	(3.8)	0	(0.0)	4	(2.1)
28. 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	1	(1.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
29. 配置転換があった	1	(1.0)	4	(4.5)	5	(2.6)
30. 自分の昇格・昇進があった	2	(1.9)	0	(0.0)	2	(1.0)
31. 部下が減った	2	(1.9)	1	(1.1)	3	(1.6)
32. 部下が増えた	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
33. 同一事業場内での所属部署が統廃合された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
34. 担当ではない業務として非正規社員のマネージメント、教育を行った	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
35. (ひどい)嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	17	(16.3)	11	(12.4)	28	(14.5)
36. セクシャルハラスメントを受けた	9	(8.7)	6	(6.7)	15	(7.8)
37. 上司とのトラブルがあった	14	(13.5)	6	(6.7)	20	(10.4)
38. 部下とのトラブルがあった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
39. 同僚とのトラブルがあった	2	(1.9)	0	(0.0)	2	(1.0)
40. 理解してくれていた人の異動があった	1	(1.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
41. 上司が替わった	1	(1.0)	0	(0.0)	1	(0.5)
42. 昇進で先を越された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
43. 同僚の昇進・昇格があった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)

*1 旧基準：「心理的負荷による精神障害等に係る業務上外の判断指針」(平成 11 年 9 月)に基づく分類

表 2-5-1 出来事(新基準*1) (平成 24~28 年度業務上事案、精神障害、男女)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	471		436		497		472		498		2374	
(年度別%)	(19.8)		(18.4)		(20.9)		(19.9)		(21.0)		(100)	
特別な出来事の評価												
心理的負荷が極度のもの	43	(9.1)	52	(11.9)	19	(3.8)	36	(7.6)	28	(5.6)	178	(7.5)
極度の長時間労働	42	(8.9)	28	(6.4)	47	(9.5)	53	(11.2)	46	(9.2)	216	(9.1)
恒常的な長時間労働	123	(26.1)	96	(22.0)	118	(23.7)	128	(27.1)	117	(23.5)	582	(24.5)
具体的出来事												
1. (重度の) 病気やケガをした	36	(7.6)	45	(10.3)	53	(10.7)	47	(10.0)	65	(13.1)	246	(10.4)
2. 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	61	(13.0)	55	(12.6)	74	(14.9)	60	(12.7)	73	(14.7)	323	(13.6)
3. 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	4	(0.8)	5	(1.1)	2	(0.4)	3	(0.6)	3	(0.6)	17	(0.7)
4. 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	17	(3.6)	17	(3.9)	20	(4.0)	27	(5.7)	24	(4.8)	105	(4.4)
5. 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	11	(2.3)	9	(2.1)	14	(2.8)	12	(2.5)	14	(2.8)	60	(2.5)
6. 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	3	(0.6)	3	(0.7)	6	(1.2)	2	(0.4)	2	(0.4)	16	(0.7)
7. 業務に関連し、違法行為を強要された	2	(0.4)	5	(1.1)	3	(0.6)	11	(2.3)	11	(2.2)	32	(1.3)
8. 達成困難なノルマが課された	15	(3.2)	12	(2.8)	16	(3.2)	19	(4.0)	18	(3.6)	80	(3.4)
9. ノルマが達成できなかった	9	(1.9)	8	(1.8)	11	(2.2)	17	(3.6)	10	(2.0)	55	(2.3)
10. 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	8	(1.7)	4	(0.9)	3	(0.6)	3	(0.6)	12	(2.4)	30	(1.3)
11. 顧客や取引先から無理な注文を受けた	6	(1.3)	6	(1.4)	4	(0.8)	8	(1.7)	7	(1.4)	31	(1.3)
12. 顧客や取引先からクレームを受けた	26	(5.5)	11	(2.5)	33	(6.6)	26	(5.5)	23	(4.6)	119	(5.0)
13. 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	4	(0.8)	4	(0.8)	9	(0.4)
14. 上司が不在になることにより、その代行を任された	1	(0.2)	1	(0.2)	3	(0.6)	8	(1.7)	8	(1.6)	21	(0.9)
15. 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	87	(18.5)	81	(18.6)	90	(18.1)	113	(23.9)	126	(25.3)	497	(20.9)
16. 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	42	(8.9)	36	(8.3)	61	(12.3)	59	(12.5)	51	(10.2)	249	(10.5)
17. 2週間にわたって連続勤務を行った	36	(7.6)	43	(9.9)	45	(9.1)	65	(13.8)	87	(17.5)	276	(11.6)
18. 勤務形態に変化があった	3	(0.6)	2	(0.5)	1	(0.2)	3	(0.6)	0	(0.0)	9	(0.4)
19. 仕事のペース、活動の変化があった	0	(0.0)	2	(0.5)	3	(0.6)	3	(0.6)	0	(0.0)	8	(0.3)
20. 退職を強要された	11	(2.3)	19	(4.4)	19	(3.8)	16	(3.4)	24	(4.8)	89	(3.7)
21. 配置転換があった	26	(5.5)	32	(7.3)	26	(5.2)	37	(7.8)	36	(7.2)	157	(6.6)
22. 転勤をした	9	(1.9)	8	(1.8)	7	(1.4)	6	(1.3)	10	(2.0)	40	(1.7)
23. 複数名で担当していた業務を1人で担当ようになった	8	(1.7)	4	(0.9)	6	(1.2)	10	(2.1)	10	(2.0)	38	(1.6)
24. 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.6)	3	(0.6)	7	(0.3)
25. 自分の昇格・昇進があった	4	(0.8)	5	(1.1)	8	(1.6)	7	(1.5)	8	(1.6)	32	(1.3)
26. 部下が減った	5	(1.1)	2	(0.5)	1	(0.2)	2	(0.4)	8	(1.6)	18	(0.8)
27. 早期退職制度の対象となった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
28. 非正規社員である自分の契約満了が迫った	0	(0.0)	1	(0.2)	0	(0.0)	2	(0.4)	1	(0.2)	4	(0.2)
29. (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	61	(13.0)	61	(14.0)	83	(16.7)	80	(16.9)	98	(19.7)	383	(16.1)
30. 上司とのトラブルがあった	71	(15.1)	66	(15.1)	53	(10.7)	82	(17.4)	89	(17.9)	361	(15.2)
31. 同僚とのトラブルがあった	13	(2.8)	9	(2.1)	11	(2.2)	15	(3.2)	15	(3.0)	63	(2.7)
32. 部下とのトラブルがあった	11	(2.3)	7	(1.6)	4	(0.8)	4	(0.8)	8	(1.6)	34	(1.4)
33. 理解してくれていた人の異動があった	4	(0.8)	1	(0.2)	2	(0.4)	4	(0.8)	3	(0.6)	14	(0.6)
34. 上司が替わった	6	(1.3)	4	(0.9)	1	(0.2)	4	(0.8)	5	(1.0)	20	(0.8)
35. 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	1	(0.2)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.2)	1	(0.2)	3	(0.1)
36. セクシュアルハラスメントを受けた	26	(5.5)	30	(6.9)	31	(6.2)	30	(6.4)	34	(6.8)	151	(6.4)

*1 新基準：「心理的負荷による精神障害の認定基準」(平成 23 年 12 月)に基づく分類

表 2-5-2 出来事(新基準*1) (平成 24~28 年度業務上事案、精神障害、男性)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	342		289		347		326		330		1634	
(年度別%)	(20.9)		(17.7)		(21.2)		(20.0)		(20.2)		(100)	
特別な出来事の評価												
心理的負荷が極度のもの	24	(7.0)	26	(9.0)	11	(3.2)	18	(5.5)	10	(3.0)	89	(5.4)
極度の長時間労働	40	(11.7)	23	(8.0)	44	(12.7)	46	(14.1)	38	(11.5)	191	(11.7)
恒常的な長時間労働	105	(30.7)	75	(26.0)	103	(29.7)	108	(33.1)	102	(30.9)	493	(30.2)
具体的出来事												
1. (重度の) 病気やケガをした	23	(6.7)	36	(12.5)	39	(11.2)	35	(10.7)	49	(14.8)	182	(11.1)
2. 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	30	(8.8)	31	(10.7)	33	(9.5)	28	(8.6)	39	(11.8)	161	(9.9)
3. 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	2	(0.6)	3	(1.0)	1	(0.3)	3	(0.9)	3	(0.9)	12	(0.7)
4. 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	15	(4.4)	16	(5.5)	18	(5.2)	22	(6.7)	19	(5.8)	90	(5.5)
5. 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	10	(2.9)	8	(2.8)	14	(4.0)	11	(3.4)	9	(2.7)	52	(3.2)
6. 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	2	(0.6)	3	(1.0)	6	(1.7)	2	(0.6)	2	(0.6)	15	(0.9)
7. 業務に関連し、違法行為を強要された	2	(0.6)	3	(1.0)	2	(0.6)	8	(2.5)	7	(2.1)	22	(1.3)
8. 達成困難なノルマが課された	12	(3.5)	7	(2.4)	15	(4.3)	16	(4.9)	16	(4.8)	66	(4.0)
9. ノルマが達成できなかった	8	(2.3)	5	(1.7)	10	(2.9)	17	(5.2)	9	(2.7)	49	(3.0)
10. 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	6	(1.8)	3	(1.0)	3	(0.9)	3	(0.9)	9	(2.7)	24	(1.5)
11. 顧客や取引先から無理な注文を受けた	6	(1.8)	6	(2.1)	3	(0.9)	7	(2.1)	7	(2.1)	29	(1.8)
12. 顧客や取引先からクレームを受けた	22	(6.4)	5	(1.7)	29	(8.4)	17	(5.2)	16	(4.8)	89	(5.4)
13. 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.6)	3	(0.9)	5	(0.3)
14. 上司が不在になることにより、その代行を任された	1	(0.3)	1	(0.3)	2	(0.6)	6	(1.8)	3	(0.9)	13	(0.8)
15. 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	68	(19.9)	63	(21.8)	73	(21.0)	82	(25.2)	92	(27.9)	378	(23.1)
16. 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	38	(11.1)	27	(9.3)	53	(15.3)	50	(15.3)	41	(12.4)	209	(12.8)
17. 2週間にわたって連続勤務を行った	32	(9.4)	38	(13.1)	37	(10.7)	52	(16.0)	69	(20.9)	228	(14.0)
18. 勤務形態に変化があった	3	(0.9)	1	(0.3)	1	(0.3)	1	(0.3)	0	(0.0)	6	(0.4)
19. 仕事のペース、活動の変化があった	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.9)	3	(0.9)	0	(0.0)	6	(0.4)
20. 退職を強要された	9	(2.6)	13	(4.5)	12	(3.5)	10	(3.1)	15	(4.5)	59	(3.6)
21. 配置転換があった	23	(6.7)	25	(8.7)	21	(6.1)	26	(8.0)	27	(8.2)	122	(7.5)
22. 転勤をした	8	(2.3)	8	(2.8)	7	(2.0)	6	(1.8)	8	(2.4)	37	(2.3)
23. 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	5	(1.5)	2	(0.7)	5	(1.4)	9	(2.8)	9	(2.7)	30	(1.8)
24. 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(0.9)	2	(0.6)	6	(0.4)
25. 自分の昇格・昇進があった	3	(0.9)	4	(1.4)	7	(2.0)	6	(1.8)	6	(1.8)	26	(1.6)
26. 部下が減った	5	(1.5)	1	(0.3)	1	(0.3)	2	(0.6)	5	(1.5)	14	(0.9)
27. 早期退職制度の対象となった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
28. 非正規社員である自分の契約満了が迫った	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	0	(0.0)	1	(0.1)
29. (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	45	(13.2)	45	(15.6)	55	(15.9)	51	(15.6)	64	(19.4)	260	(15.9)
30. 上司とのトラブルがあった	54	(15.8)	44	(15.2)	40	(11.5)	57	(17.5)	55	(16.7)	250	(15.3)
31. 同僚とのトラブルがあった	8	(2.3)	3	(1.0)	6	(1.7)	8	(2.5)	5	(1.5)	30	(1.8)
32. 部下とのトラブルがあった	11	(3.2)	4	(1.4)	4	(1.2)	2	(0.6)	7	(2.1)	28	(1.7)
33. 理解してくれていた人の異動があった	2	(0.6)	0	(0.0)	2	(0.6)	2	(0.6)	2	(0.6)	8	(0.5)
34. 上司が替わった	3	(0.9)	2	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.6)	2	(0.6)	9	(0.6)
35. 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	1	(0.3)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.3)	1	(0.3)	3	(0.2)
36. セクシュアルハラスメントを受けた	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.6)	1	(0.3)	2	(0.6)	5	(0.3)

*1 新基準：「心理的負荷による精神障害の認定基準」(平成 23 年 12 月)に基づく分類

表 2-5-3 出来事(新基準) (平成 24~28 年度業務上事案、精神障害、女性)

	平成24年度		平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		合計	
	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)	N	(%)
事案数	129		147		150		146		168		740	
(年度別%)	(17.4)		(19.9)		(20.3)		(19.7)		(22.7)		(100)	
特別な出来事の評価												
心理的負荷が極度のもの	19	(14.7)	26	(17.7)	8	(5.3)	18	(12.3)	18	(10.7)	89	(12.0)
極度の長時間労働	2	(1.6)	5	(3.4)	3	(2.0)	7	(4.8)	8	(4.8)	25	(3.4)
恒常的な長時間労働	18	(14.0)	21	(14.3)	15	(10.0)	20	(13.7)	15	(8.9)	89	(12.0)
具体的出来事												
1. (重度の) 病気やケガをした	13	(10.1)	9	(6.1)	14	(9.3)	12	(8.2)	16	(9.5)	64	(8.6)
2. 悲惨な事故や災害の体験、目撃をした	31	(24.0)	24	(16.3)	41	(27.3)	32	(21.9)	34	(20.2)	162	(21.9)
3. 業務に関連し、重大な人身事故、重大事故を起こした	2	(1.6)	2	(1.4)	1	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	5	(0.7)
4. 会社の経営に影響する等の重大な仕事上のミスをした	2	(1.6)	1	(0.7)	2	(1.3)	5	(3.4)	5	(3.0)	15	(2.0)
5. 会社で起きた事故・事件について、責任を問われた	1	(0.8)	1	(0.7)	0	(0.0)	1	(0.7)	5	(3.0)	8	(1.1)
6. 自分の関係する仕事で多額の損失等が生じた	1	(0.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.1)
7. 業務に関連し、違法行為を強要された	0	(0.0)	2	(1.4)	1	(0.7)	3	(2.1)	4	(2.4)	10	(1.4)
8. 達成困難なノルマが課された	3	(2.3)	5	(3.4)	1	(0.7)	3	(2.1)	2	(1.2)	14	(1.9)
9. ノルマが達成できなかった	1	(0.8)	3	(2.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	1	(0.6)	6	(0.8)
10. 新規事業の担当になった、会社の建て直しの担当になった	2	(1.6)	1	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(1.8)	6	(0.8)
11. 顧客や取引先から無理な注文を受けた	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.7)	0	(0.0)	2	(0.3)
12. 顧客や取引先からクレームを受けた	4	(3.1)	6	(4.1)	4	(2.7)	9	(6.2)	7	(4.2)	30	(4.1)
13. 大きな説明会や公式の場での発表を強いられた	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	2	(1.4)	1	(0.6)	4	(0.5)
14. 上司が不在になることにより、その代行を任された	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.7)	2	(1.4)	5	(3.0)	8	(1.1)
15. 仕事内容・仕事量の(大きな)変化を生じさせる出来事があった	19	(14.7)	18	(12.2)	17	(11.3)	31	(21.2)	34	(20.2)	119	(16.1)
16. 1ヶ月に80時間以上の時間外労働を行った	4	(3.1)	9	(6.1)	8	(5.3)	9	(6.2)	10	(6.0)	40	(5.4)
17. 2週間にわたって連続勤務を行った	4	(3.1)	5	(3.4)	8	(5.3)	13	(8.9)	18	(10.7)	48	(6.5)
18. 勤務形態に変化があった	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	2	(1.4)	0	(0.0)	3	(0.4)
19. 仕事のペース、活動の変化があった	0	(0.0)	2	(1.4)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(0.3)
20. 退職を強要された	2	(1.6)	6	(4.1)	7	(4.7)	6	(4.1)	9	(5.4)	30	(4.1)
21. 配置転換があった	3	(2.3)	7	(4.8)	5	(3.3)	11	(7.5)	9	(5.4)	35	(4.7)
22. 転勤をした	1	(0.8)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	2	(1.2)	3	(0.4)
23. 複数名で担当していた業務を1人で担当するようになった	3	(2.3)	2	(1.4)	1	(0.7)	1	(0.7)	1	(0.6)	8	(1.1)
24. 非正規社員であるとの理由により、仕事上の差別、不利益取り扱いを受けた	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	1	(0.6)	1	(0.1)
25. 自分の昇格・昇進があった	1	(0.8)	1	(0.7)	1	(0.7)	1	(0.7)	2	(1.2)	6	(0.8)
26. 部下が減った	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	0	(0.0)	3	(1.8)	4	(0.5)
27. 早期退職制度の対象となった	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
28. 非正規社員である自分の契約満了が迫った	0	(0.0)	1	(0.7)	0	(0.0)	1	(0.7)	1	(0.6)	3	(0.4)
29. (ひどい) 嫌がらせ、いじめ、又は暴行を受けた	16	(12.4)	16	(10.9)	28	(18.7)	29	(19.9)	34	(20.2)	123	(16.6)
30. 上司とのトラブルがあった	17	(13.2)	22	(15.0)	13	(8.7)	25	(17.1)	34	(20.2)	111	(15.0)
31. 同僚とのトラブルがあった	5	(3.9)	6	(4.1)	5	(3.3)	7	(4.8)	10	(6.0)	33	(4.5)
32. 部下とのトラブルがあった	0	(0.0)	3	(2.0)	0	(0.0)	2	(1.4)	1	(0.6)	6	(0.8)
33. 理解してくれていた人の異動があった	2	(1.6)	1	(0.7)	0	(0.0)	2	(1.4)	1	(0.6)	6	(0.8)
34. 上司が替わった	3	(2.3)	2	(1.4)	1	(0.7)	2	(1.4)	3	(1.8)	11	(1.5)
35. 同僚等の昇進・昇格があり、昇進で先を越された	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)	0	(0.0)
36. セクシュアルハラスメントを受けた	26	(20.2)	30	(20.4)	29	(19.3)	29	(19.9)	32	(19.0)	146	(19.7)

*1 新基準：「心理的負荷による精神障害の認定基準」(平成 23 年 12 月)に基づく分類